

データヘルス計画

第2期計画書

最終更新日：平成 30 年 09 月 07 日

学研健康保険組合

STEP 1 - 1 基本情報

組合コード	24794
組合名称	学研健康保険組合
形態	単一
業種	情報通信業

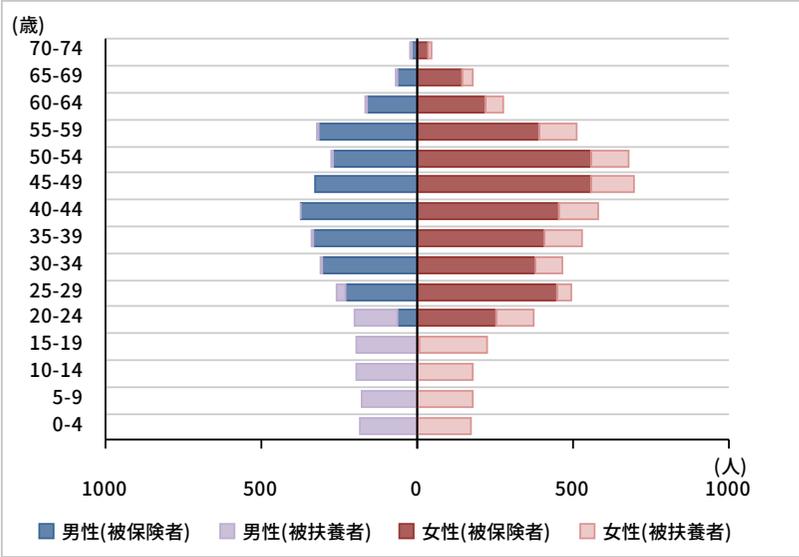
	平成30年度見込み	令和元年度見込み	令和2年度見込み
被保険者数 * 平均年齢は 特例退職被保険者を除く	6,300名 男性38.1% (平均年齢44.5歳) * 女性61.9% (平均年齢44.0歳) *	-名 男性-% (平均年齢-歳) * 女性-% (平均年齢-歳) *	-名 男性-% (平均年齢-歳) * 女性-% (平均年齢-歳) *
特例退職被保険者数	0名	-名	-名
加入者数	9,000名	-名	-名
適用事業所数	33カ所	-カ所	-カ所
対象となる拠点数	125カ所	-カ所	-カ所
保険料率 *調整を含む	98‰	-‰	-‰

		健康保険組合と事業主側の医療専門職					
		平成30年度見込み		令和元年度見込み		令和2年度見込み	
		常勤(人)	非常勤(人)	常勤(人)	非常勤(人)	常勤(人)	非常勤(人)
健保組合	顧問医	0	0	-	-	-	-
	保健師等	0	0	-	-	-	-
事業主	産業医	0	2	-	-	-	-
	保健師等	0	0	-	-	-	-

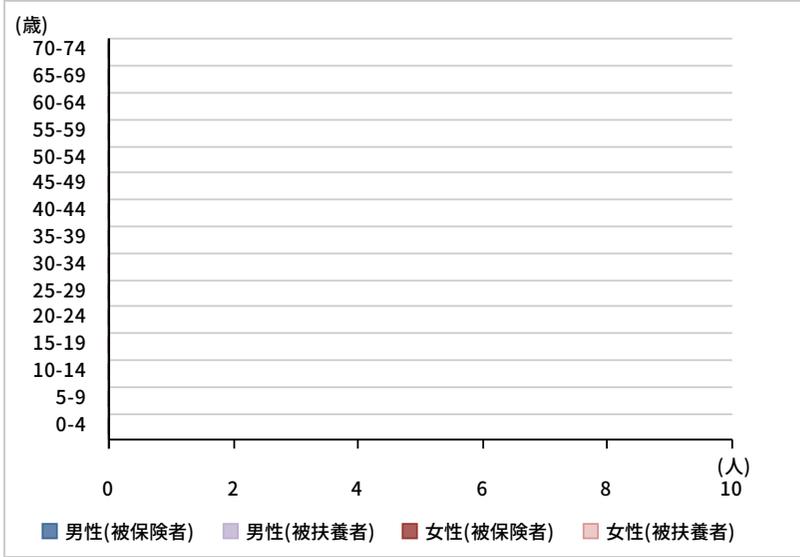
		第2期における基礎数値	
特定健康診査実施率 (特定健康診査実施者数 ÷ 特定健康診査対象者数)	全体	2,282 / 3,345 = 68.2 %	
	被保険者	2,074 / 2,749 = 75.4 %	
	被扶養者	208 / 596 = 34.9 %	
特定保健指導実施率 (特定保健指導実施者数 ÷ 特定保健指導対象者数)	全体	0 / 399 = 0.0 %	
	被保険者	0 / 309 = 0.0 %	
	被扶養者	0 / 90 = 0.0 %	

		平成30年度見込み		令和元年度見込み		令和2年度見込み	
		予算額(千円)	被保険者一人 当たり金額 (円)	予算額(千円)	被保険者一人 当たり金額 (円)	予算額(千円)	被保険者一人 当たり金額 (円)
保健事業費	特定健康診査事業費	23,560	3,740	-	-	-	-
	特定保健指導事業費	3,960	629	-	-	-	-
	保健指導宣伝費	2,199	349	-	-	-	-
	疾病予防費	83,820	13,305	-	-	-	-
	体育奨励費	1	0	-	-	-	-
	直営保養所費	0	0	-	-	-	-
	その他	1	0	-	-	-	-
	小計 …a	113,541	18,022	0	-	0	-
経常支出合計 …b	2,573,029	408,417	-	-	-	-	
a/b×100 (%)	4.41		-	-	-	-	

平成30年度見込み



令和元年度見込み



令和2年度見込み



男性（被保険者）

平成30年度見込み				令和元年度見込み				令和2年度見込み			
0～4	0人	5～9	0人	0～4	-人	5～9	-人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	0人	15～19	1人	10～14	-人	15～19	-人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	66人	25～29	229人	20～24	-人	25～29	-人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	302人	35～39	334人	30～34	-人	35～39	-人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	375人	45～49	326人	40～44	-人	45～49	-人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	272人	55～59	314人	50～54	-人	55～59	-人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	161人	65～69	65人	60～64	-人	65～69	-人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	15人			70～74	-人			70～74	-人		

女性（被保険者）

平成30年度見込み				令和元年度見込み				令和2年度見込み			
0～4	0人	5～9	0人	0～4	-人	5～9	-人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	0人	15～19	3人	10～14	-人	15～19	-人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	254人	25～29	446人	20～24	-人	25～29	-人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	377人	35～39	408人	30～34	-人	35～39	-人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	453人	45～49	557人	40～44	-人	45～49	-人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	558人	55～59	393人	50～54	-人	55～59	-人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	221人	65～69	146人	60～64	-人	65～69	-人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	33人			70～74	-人			70～74	-人		

男性（被扶養者）

平成30年度見込み				令和元年度見込み				令和2年度見込み			
0～4	186人	5～9	180人	0～4	-人	5～9	-人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	193人	15～19	195人	10～14	-人	15～19	-人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	140人	25～29	30人	20～24	-人	25～29	-人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	7人	35～39	3人	30～34	-人	35～39	-人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	1人	45～49	0人	40～44	-人	45～49	-人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	7人	55～59	4人	50～54	-人	55～59	-人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	8人	65～69	7人	60～64	-人	65～69	-人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	4人			70～74	-人			70～74	-人		

女性（被扶養者）

平成30年度見込み				令和元年度見込み				令和2年度見込み			
0～4	175人	5～9	177人	0～4	-人	5～9	-人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	176人	15～19	221人	10～14	-人	15～19	-人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	119人	25～29	47人	20～24	-人	25～29	-人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	85人	35～39	120人	30～34	-人	35～39	-人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	126人	45～49	139人	40～44	-人	45～49	-人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	123人	55～59	120人	50～54	-人	55～59	-人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	59人	65～69	36人	60～64	-人	65～69	-人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	11人			70～74	-人			70～74	-人		

基本情報から見える特徴

中規模な健康保険組合（被保険者6300人、加入者9000人）である
 適用事業所や拠点数が被保険者数に比して多く、所属人数の多い事業所も全国に散在する小人数拠点から構成されている
 被保険者人口としては女性が多い
 男性の人口ピークは40歳代前半、女性は50歳代後半であるが、男性は50歳代後半に女性は20歳代後半にも局所的な人口偏りがある
 当健康保険組合に医療専門職は不在である
 特定保健指導は方向性再検討のため数年に渡って実施保留している
 近年の国庫拠出負担と医療費の両面での支出急増により保険料は増加し高料率となっている

STEP 1 - 2 保健事業の実施状況

保健事業の整理から見える特徴

- ・被保険者の特定健診は実際の実施率は全体的にさほど悪くないと見込まれるが、一部事業所での結果回収体制の問題で良好な実施率にいたっていない
- ・被扶養者の特定健診は実質的な意味での実施率向上が課題である
- ・特定保健指導は方向性を再検討するため、数年間実施を保留してきたが、30年度からは単純な実施件数よりも実効性を重視しつつ再開の予定である
- ・人間ドック、生活習慣病健診などの位置づけについて整理と周知が不十分で、加入者も自分の受診すべき健診がわかりにくくなっている

事業の一覧

職場環境の整備

疾病予防	健康相談
予算措置なし	保健事業に関する各社面談

加入者への意識づけ

保健指導宣伝	ホームページによる情報発信
保健指導宣伝	医療費通知の発行と活用
予算措置なし	ジェネリック医薬品利用推進

個別の事業

特定健康診査事業	特定健康診査
特定保健指導事業	特定保健指導
疾病予防	生活習慣病検診
疾病予防	女性検診
疾病予防	人間ドック

事業主の取組

1	健康相談
2	禁煙支援
3	法定健診受診率の向上
4	予防接種
5	海外渡航者の保健施策
6	産業医による個別面談
7	保健事業に関する教育啓発

※事業は予算科目順に並び替えて表示されています。

予算科目	注1) 事業分類	事業名	事業の目的および概要	対象者					事業費(千円)	振り返り			注2) 評価
				資格	対象事業所	性別	年齢	対象者		実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
職場環境の整備													
疾病予防	6	健康相談	【目的】 専門家への健康相談で不安の解消 【概要】 業者委託型で、電話、WEBで無料相談可能	被保険者被扶養者	全て	男女	～(上限なし)	全員	400	・母体企業と共同実施 ・健康相談とメンタルヘルスカウンセリングの2コースを設置 ・公開電話番号にて常時受付回答	機関誌、ホームページに記事を掲載すると、一時的に利用者が増加	利用者が少なく、周知方法、利用推進策の検討	1
予算措置なし	1	保健事業に関する各社面談	【目的】 グループ内の各事業所の健康改善に向けた施策支援 【概要】 多様で異なる健康環境にある各事業所に、個別の面談を通じてデータヘルス計画などをもとにした健康状態分析結果を提示し、改善に向けた施策の立案実施を支援	被保険者被扶養者	全て	男女	～(上限なし)	全員	平成29年秋に初回の面談を実施済み 今後、立案と実施状況の確認と改善をテーマに年次継続的に実施の予定	近年の医療費高騰が良い意味での事業所との危機感共有に好作用している	規模の大きな事業所を中心にまだ浸透には時間がかかりそうである	3	
加入者への意識づけ													
保健指導宣伝	2	ホームページによる情報発信	【目的】 法改正、連絡事項の周知、健康情報の提供 【概要】 連絡事項の周知の他、申請書のダウンロード、Q&A、問合せの受付も実施	被保険者被扶養者	全て	男女	～(上限なし)	全員	600	・その都度情報更新 ・インターネット上で公開。自宅からでもアクセス可能		・認知度の向上 ・ホームページ利用で、事務の効率化、電話対応の削減	5
	2	医療費通知の発行と活用	【目的】 年間医療費を通知し、内容確認、かかった医療費の意識づけ 【概要】 年に1回、紙の通知書を発行	被保険者被扶養者	全て	男女	18～(上限なし)	全員	536	毎年3月に前年の医療機関の受診記録を紙に印刷して配付	確定申告の医療費控除への用途拡大や機関誌廃止によるメッセージ媒体として相対的な比重増	・医療機関等での支払い金額が医療費通知と合致しないという照会が数件ある ・確定申告用途拡大にともなう事務フローの変化と負加増 ・希少なメッセージ媒体としての効果的活用方法の模索	5
予算措置なし	2	ジェネリック医薬品利用推進	【目的】 医療費を抑制するためジェネリック医薬品の利用率を上げる 【概要】 医療費の増加による健保財政の悪化状況の理解を深め、ジェネリック医薬品の能動的な利用を促す	被保険者被扶養者	全て	男女	18～(上限なし)	全員		保険証貼付シールを全員配布グループ伝達板を通じて貼付を呼びかけ		意識付けの繰り返しと利用状況のフィードバック	4
個別の事業													
特定健康診査事業	3	特定健康診査	【目的】 基準値を超える者のあらいだしのため 【概要】 被保険者は定期健診として実施。被扶養者は健保連の契約健診、受診券配布	被保険者被扶養者	全て	男女	40～74	全員	22,960	・被保険者は事業所の定期健診と同時に実施 ・被扶養者は受診券を発行し希望する医療機関で受診 ・受診案内に社内イントラなどを活用(H29～)	・被保険者については母体事業所の法定健診受診推進に連動して向上中 ・社内イントラでの受診案内後、受診率は多少向上	・被保険者は一部事業所の結果回収率の改善が目下の課題 ・被扶養者の受診率はまだまだ改善の余地あり ・まず被扶養者特定健診自体の存在や意義の認知度の向上が必要 ・女性健診や人間ドックなど現行の各種健診全体で考える改善策も検討する	3

予算科目	注1) 事業分類	事業名	事業の目的および概要	対象者					事業費(千円)	振り返り			注2) 評価
				資格	対象事業所	性別	年齢	対象者		実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
特定保健指導事業	4	特定保健指導	【目的】生活習慣病の発症リスクが高く、かつ予防効果が期待できる者への指導 【概要】保健師による面談とメール・電話フォロー	被保険者 被扶養者	一部の事業所	男女	40～74	基準該当者	3,360	被保険者 平成23年～平成26年 該当者を抽出し対象者を募り実施 平成27年～平成29年 方針見直しのため一時的に実施保留 ----- 被扶養者 平成23年～平成26年 該当者を抽出し対象者を募り実施 平成27年～平成29年 方針見直しのため一時的に実施保留	被保険者 平成23年～平成26年 地道な実施が結果に結びついていた ----- 被扶養者 実証に結びつく成果なし	被保険者 ・リタイア者、継続支援者（毎年該当する者）への対応策を検討 ・業務繁忙期との重複発生も課題 ・手法も複数用意し、対象者に応じようり効果的な実施を目指す ----- 被扶養者 ・特定健診受診率自体がまだ低い ・特定保健指導自体やその意義の認知度も低い ・事業所や被保険者を通じた啓発活動が望まれる	1
	3	生活習慣病検診	【目的】疾病の早期発見 【概要】定期健診と同時実施	被保険者	全て	男女	35～74	全員	35,000	毎年9～11月に、事業所の定期健診と同時実施	-	・受診率アップに向けて、受診時期の見直し ・女性検診と同時受診の検討	4
	3	女性検診	【目的】婦人科疾患の早期発見 【概要】乳房エコー、マンモグラフィー、子宮頸部細胞診を実施	被保険者 被扶養者	全て	女性	-	全員	28,000	毎年1～3月、希望者対象に実施	・婦人科疾患の早期発見に寄与 ・予約代行業者を利用することで、受診不可地域の受診が可能になり受診率アップに繋がった	受診率アップに向け、女性検診単独実施ではなく、生活習慣病等他の健診と同時実施にすることを検討	4
3	人間ドック	【目的】定期健診より検査項目が多く、疾病を早期に発見する 【概要】35歳以上希望者の日帰り人間ドック費用の70%を補助	被保険者 被扶養者	全て	男女	35～74	全員	20,000	年一回（4月～翌年3月末）であれば、希望する時期に受診可能	一部の事業所では、経年表彰時に自己負担なし（事業所が負担する）制度があり、ドック未体験者が人間ドックを定期的に受診するきっかけとなっている	・1万円以上の自己負担額が発生するために利用率が増えない ・利用方法、周知方法の検討	4	

注1) 1. 職場環境の整備 2. 加入者への意識づけ 3. 健康診査 4. 保健指導 5. 健康教育 6. 健康相談 7. 訪問指導 8. その他

注2) 1. 39%以下 2. 40%以上 3. 60%以上 4. 80%以上 5. 100%

事業名	事業の目的および概要	対象者			振り返り			共同実施
		資格	性別	年齢	実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
事業主の取組								
健康相談	健康相談	被保険者 被扶養者	-	-	株式会社学研ホールディングスを中心に、業者委託型で、通話料無料のフリーダイヤルで相談ができる。健康相談とメンタルヘルスカウンセリングの2コースがある。	-	利用者が少なく、費用対効果の面で疑問を感じている。緊急時にはこちらのフリーダイヤルに電話せずに「119」で救急車を呼ぶだろうし、どんな使い方をしたらよいか検討中。	有
禁煙支援	喫煙者の禁煙支援	被保険者 被扶養者	男女	20 ～ (上 限 なし)	喫煙室の廃止 禁煙外来受診の費用支援	-	喫煙者自身の意識	無
法定健診受診率の向上	受診率100%実現に向けた取り組み	被保険者	男女	18 ～ (上 限 なし)	各社への受診状況のフィードバック 各社単位での未受診者への受診勧奨	-	地方拠点の実施環境	有
予防接種	インフルエンザ等の事業所接種	被保険者	男女	20 ～ (上 限 なし)	接客業務を伴う事業、医療現場と接点の多い事業を中心に業務指示で接種	-	-	-
海外渡航者の保健施策	海外渡航者、帰国者への健康状況把握	被保険者	男女	18 ～ (上 限 なし)	渡航前、渡航中、帰国後に事業所主導で人間ドック受診を実施	-	-	有
産業医による個別面談	過重労働者、健康不安訴求者を対象にした産業医面談の実施	被保険者	男女	18 ～ (上 限 なし)	月に3日間実施日を設定 面談希望者募集と対象者への受診指示の両面で実施	-	-	有
保健事業に関する教育啓発	ジェネリック薬品の利用推進など医療機関の適切な利用方法の理解を促す	被保険者 被扶養者	男女	18 ～ (上 限 なし)	健保からの情報提供を踏まえ、各社の実情に応じて実施	-	-	有

STEP1-3 基本分析

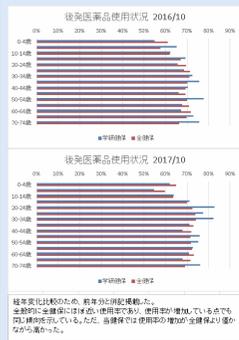
登録済みファイル一覧

記号	ファイル画像	タイトル	カテゴリ	コメント
ア		H28医療費_年齢階層別_本人家族	医療費・患者数分析	<p>一人当たり医療費を年齢別に全国水準との比較で見ると</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本人については押しなべて全国水準より高い ・家族については一部年齢層を除き全国水準より低い ・本人は40代において特に高額化傾向が見られる ・家族は60代前半に特に顕著な高額化傾向が見られ、40代前半にも若干の高額化傾向が見られる ・本人、家族とも65歳以上は対象人数が限られているため総額への影響は大きくはない
イ		H28医療費_男女階層別_表	医療費・患者数分析	<p>年齢、本人/家族からさらに男女別に分け医療費が高額化している年齢層について見ると</p> <p>本人・20代前半、40代前半は主に男性 本人・20代後半～30代後半、家族・40代前半、50代後半は主に女性が高額化に寄与しているらしいことがわかる</p> <p>なお、本人・40代後半と家族・60代前半については一部受診者による影響が主と考えられる。</p> <p>また、必ずしも医療費は高額化していないが 本人・女性・50歳前半～70歳前半、家族・男性・40歳後半、60歳前半、家族・女性・20歳前半では受診者数が比較で見て多くなっている可能性がある。</p>
ウ		H28医療費_男女階層別_疾病別_表	医療費・患者数分析	<p>男女、年齢構成、本人/家族で分け医療費が高額化している領域の疾病分類を調べた。</p> <p>医療費が高額化している領域を黄アミ それらの中で全国水準との比較で着目すべきと思われる疾病を橙アミとした。</p> <p>本人・男性・20代前半では10:呼吸器系疾患、19:損傷・中毒・外因性 本人・男性・40代前半では01:感染症・寄生虫症、02:新生物、06:神経系疾患、11:消化器系疾患、19:損傷・中毒・外因性 家族・女性・40代前半では06:神経系疾患、09:循環器系疾患 家族・女性・50代後半では02:新生物、05:精神・行動障害、07:眼・付属器疾患が高額化に寄与している可能性がある。</p>

工		H28医療費_事業所別_指数順	医療費・患者数分析	医療費の比較指数で見た時、ごく少人数の事業所を除き5事業所で全国水準より医療費が高い傾向にある。
オ		H28疾病別医療費一人当り年間_男女	健康リスク分析	一人当たりの医療費で見ると男女とも、内分泌・栄養・代謝疾患、循環器系疾患、新生物、呼吸器系疾患などが上位を占めている。年齢別分析などから分かる一部患者の影響要因を除けば、概ね加齢とメタボリックシンドロームに関連の深い疾病と医療費高額化の関係性が伺われる。
カ		H28医療費_疾病別_全国対比	医療費・患者数分析	疾病19分類で <ul style="list-style-type: none"> ・医療費が全国水準より高額で(比較指数が1を越えている) ・それが集団傾向であり(受診率、医療費割合が低くない=一部の高額患者の影響ではない) ・医療費全体に占める割合が多い と言えるのは <ul style="list-style-type: none"> ・07:眼・付属器官疾患 ・12:皮膚・皮下組織疾患 ・02:新生物 である。
キ		H28医療費_疾病別_比較指数119	医療費・患者数分析	19分類と同じ観点で疾病をより詳細に119分類で見ても着目すべき疾病をグラフ中に網掛け表示した。

ク	<p>特定健診の実施率は被保険者・被扶養者とも年齢全般に渡って全健保水準を下回っており、改善の必要性が認められる。</p>	<p>特定健診実施率H28特定健診実施率_被保険者被扶養者全体</p>	<p>特定健診分析</p>	<p>特定健診の実施率は被保険者・被扶養者とも年齢全般に渡って全健保水準を下回っており、改善の必要性が認められる。</p>
ケ	<p>H23-H27特定保健指導実施率</p>	<p>H23-H27特定保健指導実施率</p>	<p>特定保健指導分析</p>	<p>40-65歳被保険者を中心に特定保健指導をH23からH25まで行ってきたが、H26から実施方法を見直すため、実施を保留してきた。実施中、被扶養者に関しても実施対象としてきたが本人承諾に結びつかなかった。</p>
コ	<p>H28特定保健指導該当率_全体</p> <p>特定保健指導の該当率は全健保では40代後半をピークに減少傾向にあるが、当健保では50代後半から増加する傾向が見られる。</p>	<p>H28特定保健指導該当率_全体</p>	<p>特定保健指導分析</p>	<p>特定保健指導の該当率は全健保では40代後半をピークに減少傾向にあるが、当健保では50代後半から増加する傾向が見られる。</p>
サ	<p>H28健康分布図・健診レベル</p>	<p>H28健康分布図・健診レベル</p>	<p>健康リスク分析</p>	<p>健康分布図で見ると、肥満の割合は全健保水準と比較し、男性は高めで女性は僅かに低めであるが、肥満、非肥満ともに受診勧奨基準値以上の者は割合は全健保水準よりも高くなっている。 健診レベル判定の図で見ると、生活習慣病レベルが受診勧奨基準値以上の者の中に生活習慣病の治療を受けている者は約100名、受けていない者は約300名ほどいることがわかる。</p>
シ	<p>H28リスクチャート</p>	<p>H28リスクチャート</p>	<p>健康リスク分析</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・治療を受けているにもかかわらず、検査値が受診勧奨対象で重症化リスクのある者が存在する(紫枠) ・血圧の検査値が受診勧奨対象でありながら、治療を受けていない者が存在する(赤枠)

ス

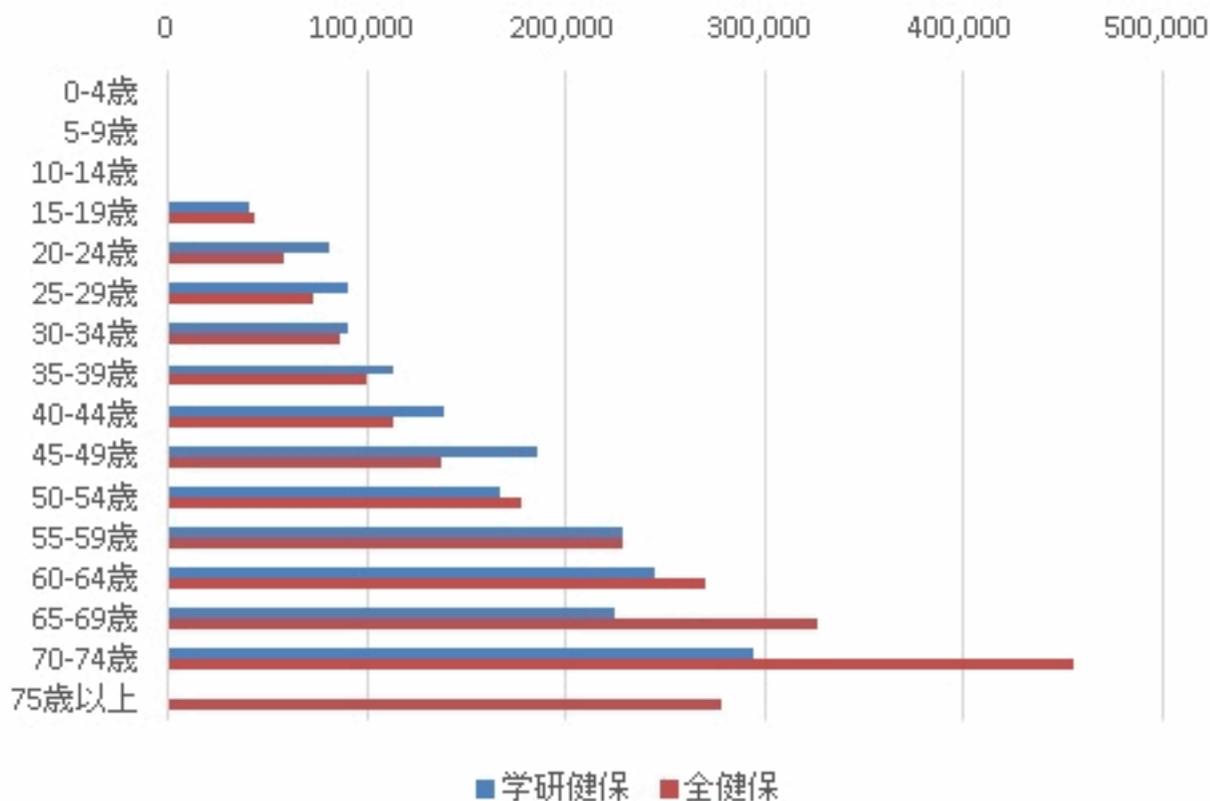


H2810H2910後発医薬品

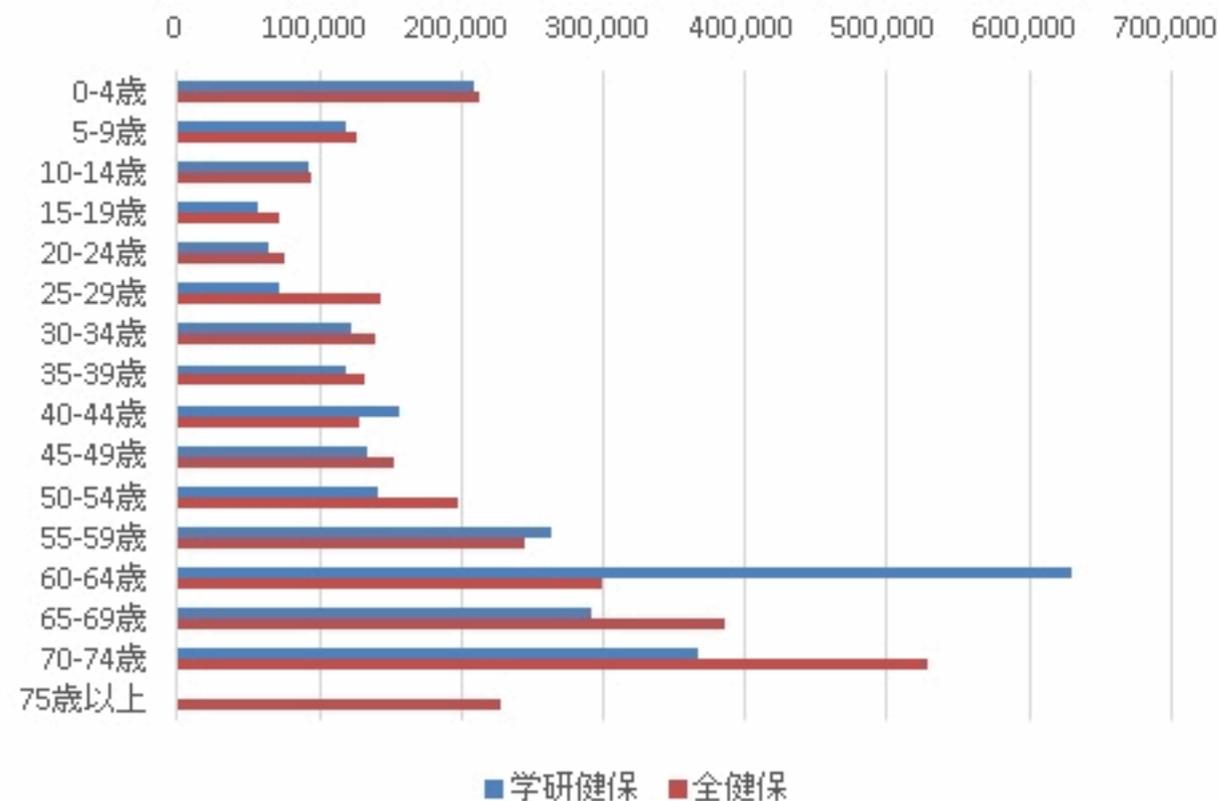
後発医薬品分析

経年変化比較のため、前年分と併記掲載した。
全般的に全健保にほぼ近い使用率であり、使用率が増加している点でも同じ傾向を示している。ただ、当健保では使用率の増加が全健保より僅かながら高かった。

年齢別1人当たり医療費 本人



年齢別1人当たり医療費 家族



一人当たり医療費を年齢別に全国水準との比較で見ると

- ・本人については押しなべて全国水準より高い
- ・家族については一部年齢層を除き全国水準より低い
- ・本人は40代において特に高額化傾向が見られる
- ・家族は60代前半に特に顕著な高額化傾向が見られ、40代前半にも若干の高額化傾向が見られる
- ・本人、家族とも65歳以上は対象人数が限られているため総額への影響は大きくはない

男性 本人																	男性 家族																
疾病19分類	0-4歳	5-9歳	10-14歳	15-19歳	20-24歳	25-29歳	30-34歳	35-39歳	40-44歳	45-49歳	50-54歳	55-59歳	60-64歳	65-69歳	70-74歳	75歳以上	疾病19分類	0-4歳	5-9歳	10-14歳	15-19歳	20-24歳	25-29歳	30-34歳	35-39歳	40-44歳	45-49歳	50-54歳	55-59歳	60-64歳	65-69歳	70-74歳	75歳以上
01:感染症・寄生虫症	-	-	-	-	2,914	1,776	4,388	3,353	14,869	14,398	3,117	9,320	2,212	5,819	4,310	-	01:感染症・寄生虫症	9,474	7,190	9,700	1,800	2,278	1,191	-	-	-	2,381	-	6,538	1,305	26,550	-	
02:新生物	-	-	-	-	1,629	872	1,210	1,039	20,403	11,478	31,130	22,808	50,949	11,757	20,086	-	02:新生物	18	342	271	3,403	1,092	-	474	-	-	11,051	-	297,090	-	-		
03:血液・造血器・免疫障害	-	-	-	-	78	134	209	204	180	413	245	1,587	604	959	173	-	03:血液・造血器・免疫障害	3,476	390	5,815	201	58	40	378	-	-	240	-	315	-	-		
04:内分泌・栄養・代謝疾患	-	-	-	-	856	695	2,040	5,499	11,832	121,063	20,113	29,854	33,048	53,453	15,239	-	04:内分泌・栄養・代謝疾患	658	1,018	4,760	434	592	7,183	28,142	46,230	-	-	8,676	12,040	1,498	14,547	4,960	
05:精神・行動障害	-	-	-	-	1,457	2,003	4,271	11,115	9,810	4,030	11,774	5,602	2,098	-	353	-	05:精神・行動障害	2,262	3,336	6,331	871	5,384	46,812	28,438	-	-	8,534	1,330	168	2,842	-		
06:神経系疾患	-	-	-	-	1,533	1,097	774	2,933	11,995	2,194	3,815	8,361	9,541	7,964	303	-	06:神経系疾患	2,099	205	1,020	446	1,847	2,767	5,892	-	-	2,216	9,580	3,137	5,767	-		
07:眼・付属器疾患	-	-	-	-	1,908	2,819	4,182	6,365	2,560	5,771	5,476	13,269	11,790	11,360	38,300	-	07:眼・付属器疾患	4,252	5,454	4,698	2,808	2,126	1,365	-	-	-	10,771	-	4,778	3,973	21,930	-	
08:耳・乳様突起疾患	-	-	-	-	873	541	874	801	1,729	276	1,225	625	1,257	689	873	-	08:耳・乳様突起疾患	12,330	4,384	1,452	369	230	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
09:循環器系疾患	-	-	-	-	986	252	801	10,771	6,339	11,352	24,591	74,166	50,901	34,732	31,400	-	09:循環器系疾患	164	617	1,215	1,093	196	7,160	8,802	880	-	-	20,940	20	6,845	94,728	7,560	
10:呼吸器系疾患	-	-	-	-	25,681	13,534	9,821	12,064	17,171	13,822	9,775	15,330	30,307	24,877	10,553	-	10:呼吸器系疾患	83,989	56,348	20,756	18,880	9,115	10,561	6,016	-	-	3,979	-	4,597	88,175	4,430	-	
11:消化器系疾患	-	-	-	0	1,683	22,882	2,347	5,461	18,329	10,599	19,265	26,222	30,679	73,856	22,954	-	11:消化器系疾患	2,945	912	946	2,106	3,551	720	2,088	995	0	0	106,961	-	26,570	6,437	82,120	-
12:皮膚・皮下組織疾患	-	-	-	-	3,059	2,466	4,683	3,127	5,359	2,504	4,038	5,743	5,121	5,214	1,314	-	12:皮膚・皮下組織疾患	21,488	11,372	7,029	4,311	6,981	6,134	27,740	-	-	10,884	8,330	1,012	1,293	-	-	
13:筋骨格系・結合組織疾患	-	-	-	-	1,387	605	1,925	3,304	7,329	6,561	6,043	10,823	8,391	11,375	3,509	-	13:筋骨格系・結合組織疾患	10,508	699	2,845	1,271	507	64	36	-	-	1,077	-	38,693	8,737	29,790	-	
14:腎尿路生殖系疾患	-	-	-	-	467	376	971	2,597	1,792	17,690	2,368	23,978	52,686	7,714	5,606	-	14:腎尿路生殖系疾患	3,161	1,462	353	51	326	979	-	-	-	-	-	627	-	-	-	
15:妊娠・分娩・産じょく	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	15:妊娠・分娩・産じょく	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
16:周産期発生病眼	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	16:周産期発生病眼	1,959	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
17:先天奇形変形・染色体異常	-	-	-	-	-	39	-	794	-	2	2	17	203	-	429	-	17:先天奇形変形・染色体異常	4,699	2,123	45	145	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1,793	-	-
18:他に分類されないもの	-	-	-	-	795	1,160	601	881	1,022	2,163	2,218	2,256	1,482	1,688	1,093	-	18:他に分類されないもの	1,908	821	582	714	492	171	-	-	-	61	-	-	6,128	140	-	
19:損傷・中毒・外因性	-	-	-	-	26,139	448	1,916	1,407	11,393	2,394	4,523	7,777	3,816	12,113	1,993	-	19:損傷・中毒・外因性	3,852	8,059	7,975	6,594	1,204	191	0	-	-	-	5,035	312	-	-	-	
21:健康影響・保健サービス	-	-	-	-	-	-	12	437	50	3	7	89	1,708	-	2,231	-	21:健康影響・保健サービス	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3,490	-	
22:重症急性呼吸器症候群など	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	22:重症急性呼吸器症候群など	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
88:ワープ病名等	-	-	-	-	129	725	202	158	894	1,411	1,082	1,025	1,959	371	693	-	88:ワープ病名等	13,659	2,211	1,380	515	423	793	1,244	-	-	-	-	-	957	-	-	

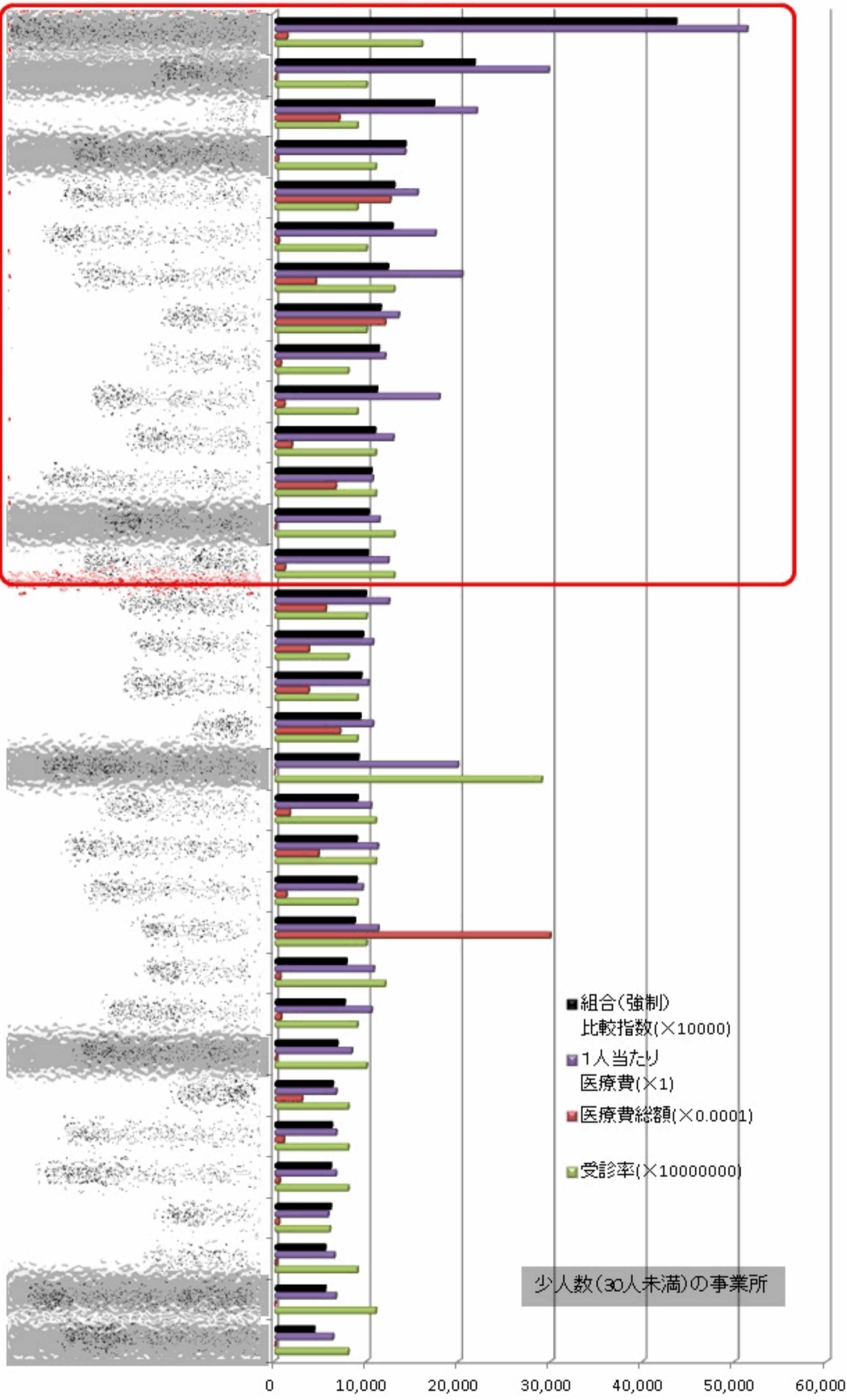
女性 本人																	女性 家族																
疾病19分類	0-4歳	5-9歳	10-14歳	15-19歳	20-24歳	25-29歳	30-34歳	35-39歳	40-44歳	45-49歳	50-54歳	55-59歳	60-64歳	65-69歳	70-74歳	75歳以上	疾病19分類	0-4歳	5-9歳	10-14歳	15-19歳	20-24歳	25-29歳	30-34歳	35-39歳	40-44歳	45-49歳	50-54歳	55-59歳	60-64歳	65-69歳	70-74歳	75歳以上
01:感染症・寄生虫症	-	-	-	193	4,529	3,373	4,013	6,264	3,532	4,852	3,310	2,645	4,002	3,904	1,837	-	01:感染症・寄生虫症	9,330	4,995	2,737	2,290	2,030	2,794	2,658	3,339	5,896	2,640	2,753	3,150	3,660	9,421	1,111	
02:新生物	-	-	-	-	2,497	2,106	11,006	31,731	20,299	29,200	17,827	36,317	28,169	9,917	8,843	-	02:新生物	1,288	127	655	1,040	10,056	713	3,014	7,293	21,142	9,441	18,659	61,823	148,541	9,718	1,711	
03:血液・造血器・免疫障害	-	-	-	-	462	502	910	2,130	679	1,720	762	897	200	229	766	-	03:血液・造血器・免疫障害	232	-	556	1,073	321	411	3,515	686	1,025	710	668	1,092	7,001	223	1,120	
04:内分泌・栄養・代謝疾患	-	-	-	-	1,647	4,137	4,579	3,974	8,224	8,772	9,408	17,981	24,708	27,071	19,587	-	04:内分泌・栄養・代謝疾患	2,000	10,030	1,024	424	2,264	2,770	7,819	6,465	7,910	6,256	8,911	23,079	60,848	26,021	42,036	
05:精神・行動障害	-	-	-	-	2,249	3,670	3,453	4,753	5,115	5,377	8,122	3,635	2,776	1,529	2,374	-	05:精神・行動障害	4,465	148	1,165	2,445	3,483	6,539	7,803	4,104	6,265	4,278	11,168	18,333	9,455	4,159	3,433	
06:神経系疾患	-	-	-	-	2,226	5,080	1,709	2,646	4,262	4,626	3,408	4,736	2,997	4,623	1,714	-	06:神経系疾患	953	298	1,608	619	2,017	2,849	4,566	2,511	19,769	12,737	5,454	7,217	10,749	5,292	7,650	
07:眼・付属器疾患	-	-	-	353	4,540	5,015	3,456	3,375	5,323	4,899	8,783	19,561	12,731	17,850	6,484	-	07:眼・付属器疾患	6,942	6,763	7,308	3,446	2,762	1,938	2,930	2,855	2,986	4,008	5,583	17,722	20,179	20,921	22,519	
08:耳・乳様突起疾患	-	-	-	1,558	1,453	1,000	1,059	688	968	2,556	1,347	601	1,834	506	389	-	08:耳・乳様突起疾患	8,492	3,298	1,471	158	319	59	7,674	498	826	1,541	451	2,506	971	1,110	1,949	
09:循環器系疾患	-	-	-	-	659	1,840	1,524	3,436	3,099	12,711	10,109	14,350	18,535	23,790	157,031	-	09:循環器系疾患	219	372	4,634	603	1,633	49	1,424	2,050	17,075	4,125	7,820	31,385	173,737	13,614	14,870	
10:呼吸器系疾患	-	-	-	26,548	21,258	15,242	14,139	17,090	15,796	13,660	17,523	15,584	18,249	18,739	24,795	-	10:呼吸器系疾患	66,982	43,548	20,392	11,182	14,037	9,147	20,154	16,351	17,242	11,872	23,057	19,172	23,866	8,495	7,508	
11:消化器系疾患	-	-	-	1,363	3,393	4,898	5,027	6,901	7,348	12,808	14,235	10,476	9,684	22,488	30,993	-	11:消化器系疾患	2,532	809	931	1,754	2,776	1,552	3,318	16,185	6,320	6,842	4,859	10,173	14,038	14,888	12,323	
12:皮膚・皮下組織疾患	-	-	-	2,000	5,431	7,408	5,308	13,113	4,672	6,087	8,708	4,008	24,686	3,865	3,317	-	12:皮膚・皮下組織疾患	22,460	6,505	6,529	6,901	6,903	3,694	3,056	4,784	4,961	3,739	4,712	7,576	3,010	7,470	1,690	
13:筋骨格系・結合組織疾患	-	-	-	-	1,263	5,277	6,403	3,391	4,289	13,370	14,402	10,741	14,158	24,907	21,439	-	13:筋骨格系・結合組織疾患	1,061	534	1,671	2,642	807	1,916	4,940	16,136	5,636	6,115	6,410	10,469	14,016	21,149	138,858	
14:腎尿路生殖系疾患	-	-	-	2,713	5,883	8,464	10,126	6,938	6,059	6,341	5,052	6,560	1,985	3,424	2,122	-	14:腎尿路生殖系疾患	1,401	242	113	1,041	3,047											

男性 本人																	男性 家族																
疾病19分類	0-4歳	5-9歳	10-14歳	15-19歳	20-24歳	25-29歳	30-34歳	35-39歳	40-44歳	45-49歳	50-54歳	55-59歳	60-64歳	65-69歳	70-74歳	75歳以上	疾病19分類	0-4歳	5-9歳	10-14歳	15-19歳	20-24歳	25-29歳	30-34歳	35-39歳	40-44歳	45-49歳	50-54歳	55-59歳	60-64歳	65-69歳	70-74歳	75歳以上
01:感染症・寄生虫症	-	-	-	-	2,914	1,776	4,388	3,353	14,869	14,398	3,117	9,320	2,212	5,819	4,310	-	01:感染症・寄生虫症	9,474	7,190	9,700	1,800	2,278	1,191	-	-	-	2,381	-	6,538	1,305	26,550	-	
02:新生物	-	-	-	-	1,629	872	1,210	1,039	20,403	11,478	31,130	22,808	50,949	11,757	20,086	-	02:新生物	18	342	271	3,403	1,092	-	474	-	-	11,051	-	297,090	-	-		
03:血液・造血器・免疫障害	-	-	-	-	78	134	209	204	180	413	245	1,587	604	959	173	-	03:血液・造血器・免疫障害	3,476	390	5,815	201	58	40	378	-	-	240	-	315	-	-		
04:内分泌・栄養・代謝疾患	-	-	-	-	856	695	2,040	5,499	11,832	121,063	20,113	29,854	33,048	53,453	15,239	-	04:内分泌・栄養・代謝疾患	658	1,018	4,760	434	592	7,183	28,142	46,230	-	-	8,676	12,040	1,498	14,547	4,960	
05:精神・行動障害	-	-	-	-	1,457	2,003	4,271	11,115	9,810	4,030	11,774	5,602	2,098	-	353	-	05:精神・行動障害	2,262	3,336	6,331	871	5,384	46,812	28,438	-	-	8,534	1,330	168	2,842	-		
06:神経系疾患	-	-	-	-	1,533	1,097	774	2,933	11,995	2,194	3,815	8,361	9,541	7,964	303	-	06:神経系疾患	2,099	205	1,020	446	1,847	2,767	5,892	-	-	2,216	9,580	3,137	5,767	-		
07:眼・付属器疾患	-	-	-	-	1,908	2,819	4,182	6,365	2,560	5,771	5,476	13,269	11,790	11,360	38,300	-	07:眼・付属器疾患	4,252	5,454	4,698	2,808	2,126	1,365	-	-	-	10,771	-	4,778	3,973	21,930		
08:耳・乳様突起疾患	-	-	-	-	873	541	874	801	1,729	276	1,225	625	1,257	689	873	-	08:耳・乳様突起疾患	12,330	4,384	1,452	369	230	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
09:循環器系疾患	-	-	-	-	986	252	801	10,771	6,339	11,352	24,591	74,166	50,901	34,732	31,400	-	09:循環器系疾患	164	617	1,215	1,093	196	7,160	8,802	880	-	-	20,940	20	6,845	94,728	7,560	
10:呼吸器系疾患	-	-	-	-	25,681	13,534	9,821	12,064	17,171	13,822	9,775	15,330	30,307	24,877	10,553	-	10:呼吸器系疾患	83,989	56,348	20,756	18,880	9,115	10,561	6,016	-	-	3,979	-	4,597	88,175	4,430		
11:消化器系疾患	-	-	-	0	1,683	22,882	2,347	5,461	18,329	10,599	19,265	26,222	30,679	73,856	22,954	-	11:消化器系疾患	2,945	912	946	2,106	3,551	720	2,088	995	0	0	106,961	-	26,570	6,437	82,120	
12:皮膚・皮下組織疾患	-	-	-	-	3,059	2,466	4,683	3,127	5,359	2,504	4,038	5,743	5,121	5,214	1,314	-	12:皮膚・皮下組織疾患	21,488	11,372	7,029	4,311	6,981	6,134	27,740	-	-	10,884	8,330	1,012	1,293	-		
13:筋骨格系・結合組織疾患	-	-	-	-	1,387	605	1,925	3,304	7,329	6,561	6,043	10,823	8,391	11,375	3,509	-	13:筋骨格系・結合組織疾患	10,508	699	2,845	1,271	507	64	36	-	-	1,077	-	38,693	8,737	29,790		
14:腎尿路生殖系疾患	-	-	-	-	467	376	971	2,597	1,792	17,690	2,368	23,978	52,686	7,714	5,606	-	14:腎尿路生殖系疾患	3,161	1,462	353	51	326	979	-	-	-	-	-	627	-	-		
15:妊娠・分娩・産じょく	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	15:妊娠・分娩・産じょく	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
16:周産期発生病眼	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	16:周産期発生病眼	1,959	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
17:先天奇形変形・染色体異常	-	-	-	-	-	39	-	794	-	2	2	17	203	-	429	-	17:先天奇形変形・染色体異常	4,699	2,123	45	145	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1,793	-	
18:他に分類されないもの	-	-	-	-	795	1,160	601	881	1,022	2,163	2,218	2,256	1,482	1,688	1,093	-	18:他に分類されないもの	1,908	821	582	714	492	171	-	-	-	61	-	-	6,128	140		
19:損傷・中毒・外因性	-	-	-	-	26,139	448	1,916	1,407	11,393	2,394	4,523	7,777	3,816	12,113	1,993	-	19:損傷・中毒・外因性	3,852	8,059	7,975	6,594	1,204	191	0	-	-	-	5,035	312	-	-		
21:健康影響・保健サービス	-	-	-	-	-	-	12	437	50	3	7	89	1,708	-	2,231	-	21:健康影響・保健サービス	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3,490		
22:重症急性呼吸器症候群など	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	22:重症急性呼吸器症候群など	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
88:ワープ病名等	-	-	-	-	129	725	202	158	894	1,411	1,082	1,025	1,959	371	693	-	88:ワープ病名等	13,659	2,211	1,380	515	423	793	1,244	-	-	-	-	-	957	-		

女性 本人																	女性 家族																
疾病19分類	0-4歳	5-9歳	10-14歳	15-19歳	20-24歳	25-29歳	30-34歳	35-39歳	40-44歳	45-49歳	50-54歳	55-59歳	60-64歳	65-69歳	70-74歳	75歳以上	疾病19分類	0-4歳	5-9歳	10-14歳	15-19歳	20-24歳	25-29歳	30-34歳	35-39歳	40-44歳	45-49歳	50-54歳	55-59歳	60-64歳	65-69歳	70-74歳	75歳以上
01:感染症・寄生虫症	-	-	-	193	4,529	3,373	4,013	6,264	3,532	4,852	3,310	2,645	4,002	3,904	1,837	-	01:感染症・寄生虫症	9,330	4,995	2,737	2,290	2,030	2,794	2,658	3,339	5,896	2,640	2,753	3,150	3,660	9,421	1,111	
02:新生物	-	-	-	-	2,497	2,106	11,006	31,731	20,299	29,200	17,827	36,317	28,169	9,917	8,843	-	02:新生物	1,288	127	655	1,040	10,056	713	3,014	7,293	21,142	9,441	18,659	61,823	148,541	9,718	1,711	
03:血液・造血器・免疫障害	-	-	-	-	462	502	910	2,130	679	1,720	762	897	200	229	766	-	03:血液・造血器・免疫障害	232	-	556	1,073	321	411	3,515	686	1,025	710	668	1,092	7,001	223	1,120	
04:内分泌・栄養・代謝疾患	-	-	-	-	1,647	4,137	4,579	3,974	8,224	8,772	9,408	17,981	24,708	27,071	19,587	-	04:内分泌・栄養・代謝疾患	2,000	10,030	1,024	424	2,264	2,770	7,819	6,465	7,910	6,256	8,911	23,079	60,848	26,021	42,036	
05:精神・行動障害	-	-	-	-	2,249	3,670	3,453	4,753	5,115	5,377	8,122	3,635	2,776	1,529	2,374	-	05:精神・行動障害	4,465	148	1,165	2,445	3,483	6,539	7,803	4,104	6,265	4,278	11,168	18,333	9,455	4,159	3,433	
06:神経系疾患	-	-	-	-	2,226	5,080	1,709	2,646	4,262	4,626	3,408	4,736	2,997	4,623	1,714	-	06:神経系疾患	953	298	1,608	619	2,017	2,849	4,566	2,511	19,769	12,737	5,454	7,217	10,749	5,292	7,650	
07:眼・付属器疾患	-	-	-	353	4,540	5,015	3,456	3,375	5,323	4,899	8,783	19,561	12,731	17,850	6,484	-	07:眼・付属器疾患	6,942	6,763	7,308	3,446	2,762	1,938	2,930	2,855	2,986	4,008	5,583	17,722	20,179	20,921	22,519	
08:耳・乳様突起疾患	-	-	-	1,558	1,453	1,000	1,059	688	968	2,556	1,347	601	1,834	506	389	-	08:耳・乳様突起疾患	8,492	3,298	1,471	158	319	59	7,674	498	826	1,541	451	2,506	971	1,110	1,949	
09:循環器系疾患	-	-	-	-	659	1,840	1,524	3,436	3,099	12,711	10,109	14,350	18,535	23,790	157,031	-	09:循環器系疾患	219	372	4,634	603	1,633	49	1,424	2,050	17,075	4,125	7,820	31,385	173,737	13,614	14,870	
10:呼吸器系疾患	-	-	-	26,548	21,258	15,242	14,139	17,090	15,796	13,660	17,523	15,584	18,249	18,739	24,795	-	10:呼吸器系疾患	66,982	43,548	20,392	11,182	14,037	9,147	20,154	16,351	17,242	11,872	23,057	19,172	23,866	8,495	7,508	
11:消化器系疾患	-	-	-	1,363	3,393	4,898	5,027	6,901	7,348	12,808	14,235	10,476	9,684	22,488	30,993	-	11:消化器系疾患	2,532	809	931	1,754	2,776	1,552	3,318	16,185	6,320	6,842	4,859	10,173	14,038	14,888	12,323	
12:皮膚・皮下組織疾患	-	-	-	2,000	5,431	7,408	5,308	13,113	4,672	6,087	8,708	4,008	24,686	3,865	3,317	-	12:皮膚・皮下組織疾患	22,460	6,505	6,529	6,901	6,903	3,694	3,056	4,784	4,961	3,739	4,712	7,576	3,010	7,470	1,690	
13:筋骨格系・結合組織疾患	-	-	-	-	1,263	5,277	6,403	3,391	4,289	13,370	14,402	10,741	14,158	24,907	21,439	-	13:筋骨格系・結合組織疾患	1,061	534	1,671	2,642	807	1,916	4,940	16,136	5,636	6,115	6,410	10,469	14,016	21,149	138,858	
14:腎尿路生殖系疾患	-	-	-	2,713	5,883	8,464	10,126	6,938	6,059	6,341	5,052	6,560	1,985	3,424	2,122	-	14:腎尿路生殖系疾患	1,401	242	113	1,041	3,047	2,715	4,027	7,485	5,953	5,988	6,310	5,029	146,687			

事業所別医療費分析(比較指数順)

比較指数1.0超の事業所



医療費の比較指数を見た時、ごく少人数の事業所を除き、5事業所で全国水準より医療費が高い傾向にある。

一人当り年間医療費 男性



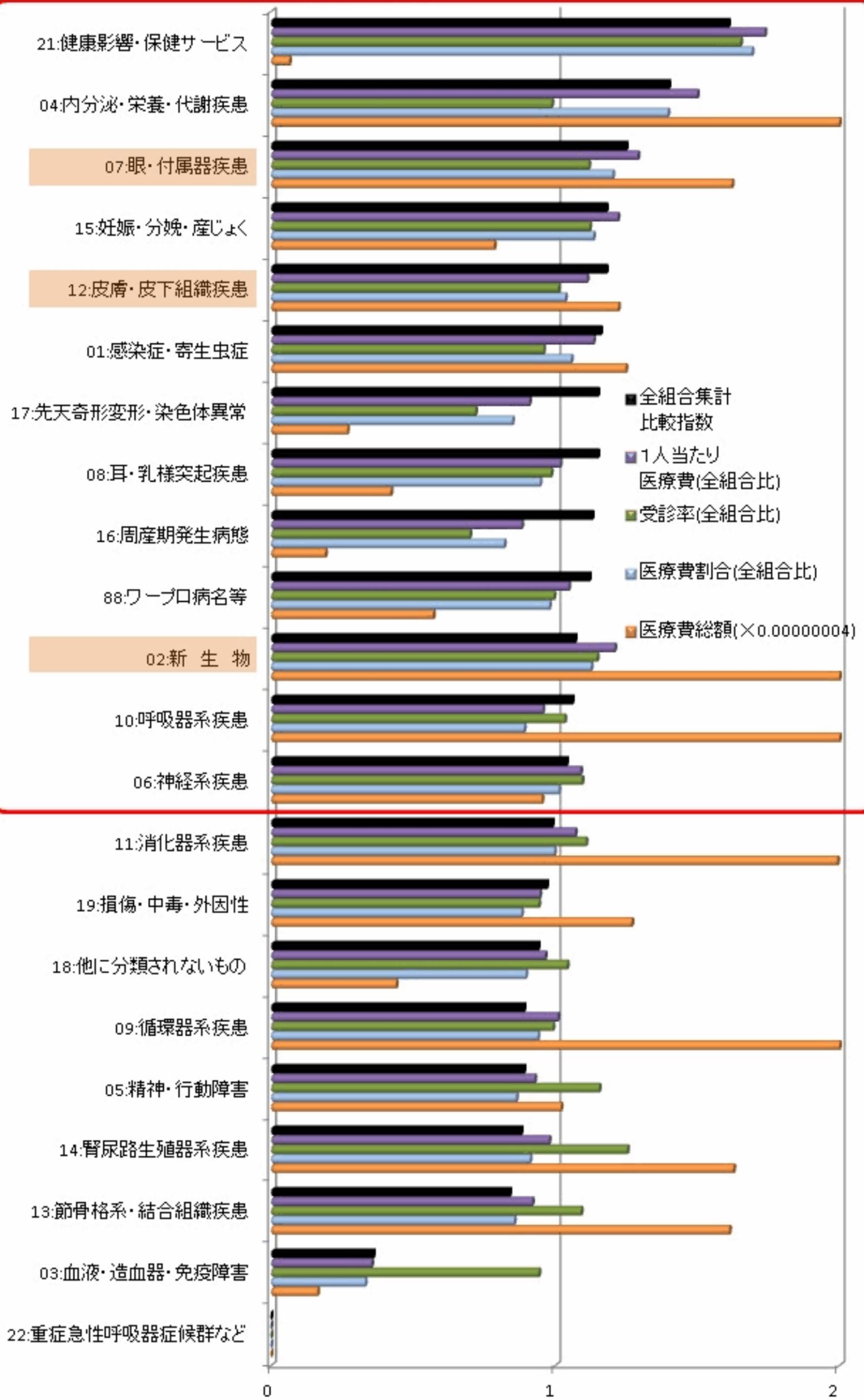
一人当り年間医療費 女性



一人当たりの医療費で見ると男女とも、内分泌・栄養・代謝疾患、循環器系疾患、新生物、呼吸器系疾患などが上位を占めている。年齢別分析などから分かる一部患者の影響要因を除けば、概ね加齢とメタボリックシンドロームに関連の深い疾病と医療費高額化の関係性が伺われる。

疾病別医療費分析(比較指数順)

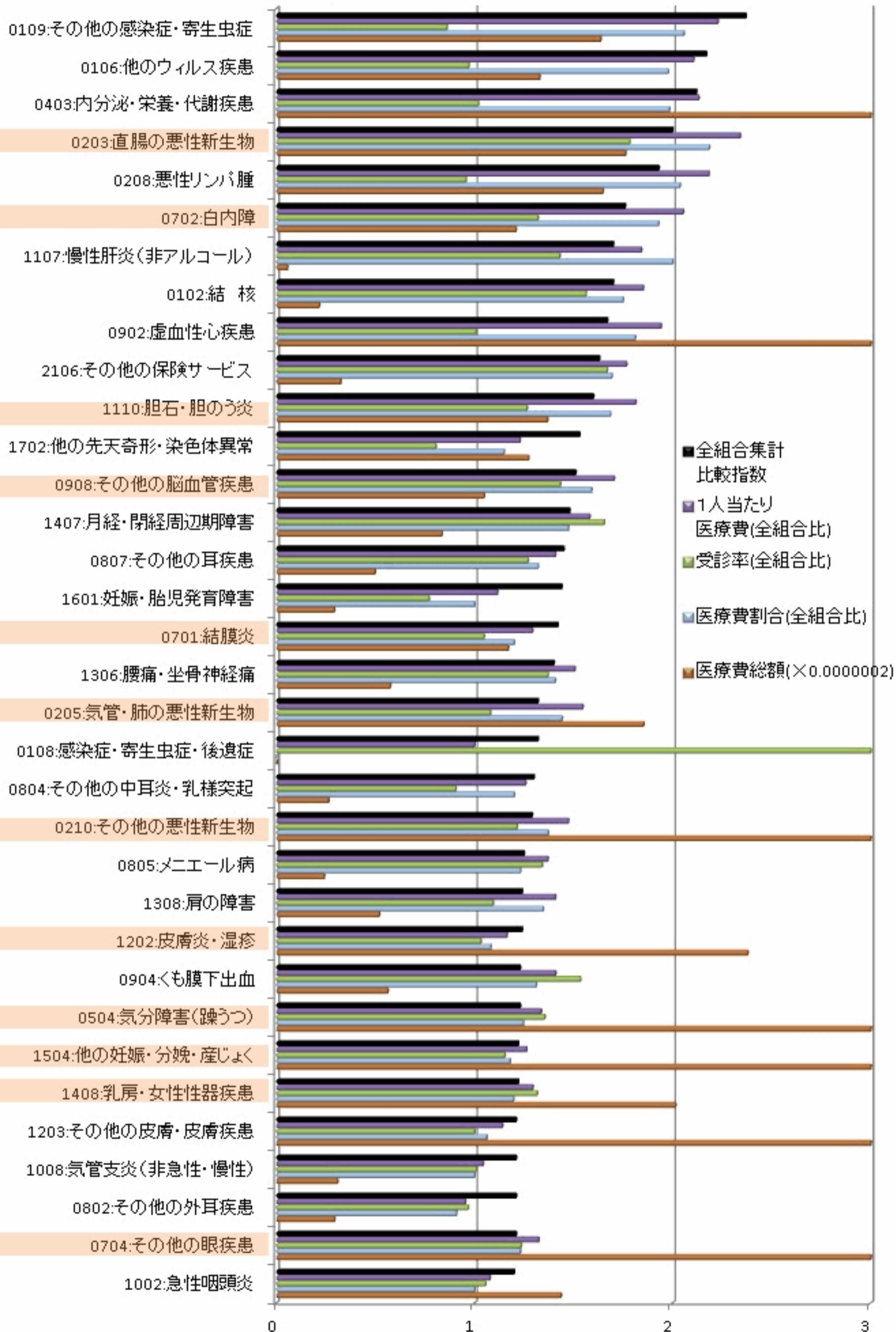
比較指数1.0超の疾病



疾病19分類で
 ・医療費が全国水準より高額で(比較指数が1を越えている)
 ・それが集団傾向であり(受診率、医療費割合が低い=一部の高額患者の影響ではない)
 ・医療費全体に占める割合が多い
 と言えるのは
 ・07:眼・付属器疾患
 ・12:皮膚・皮下組織疾患
 ・02:新生物
 である。

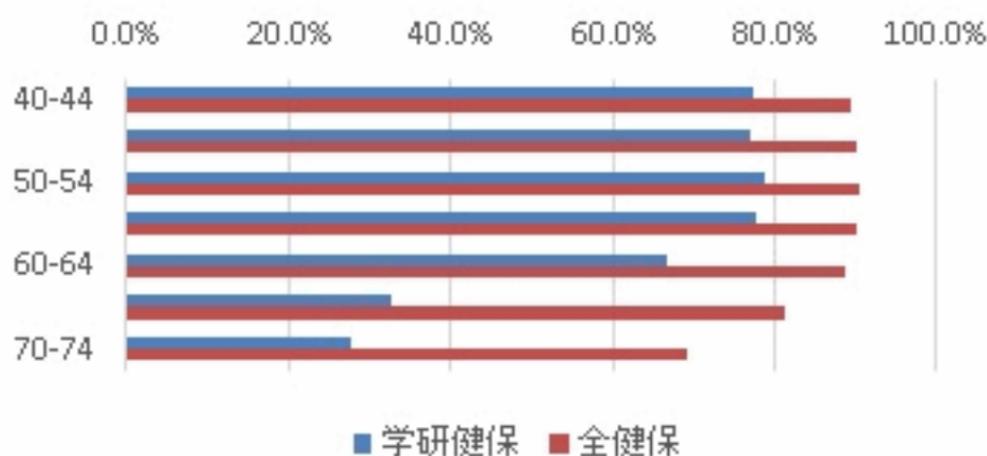
119分類による疾病別医療費分析(比較指数順)

比較指数1.2超の疾病

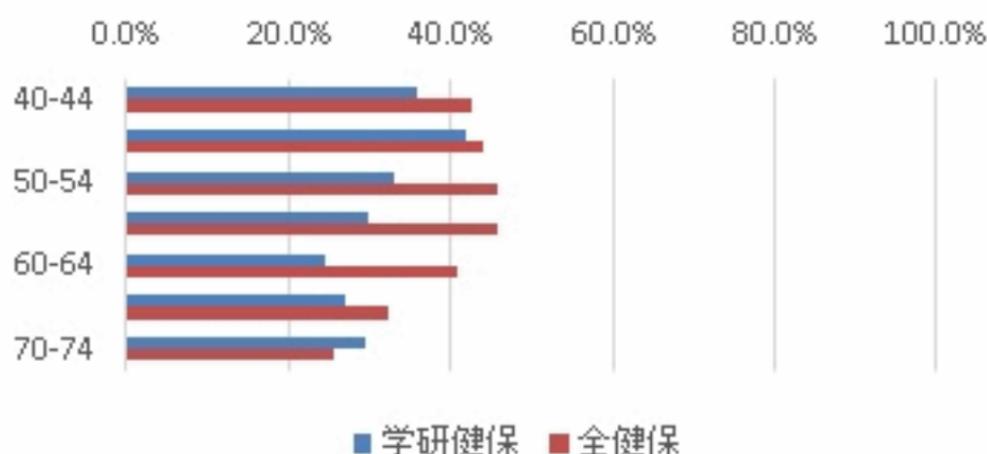


19分類と同じ観点で疾病をより詳細に119分類で見て着目すべき疾病をグラフ中に網掛け表示した。

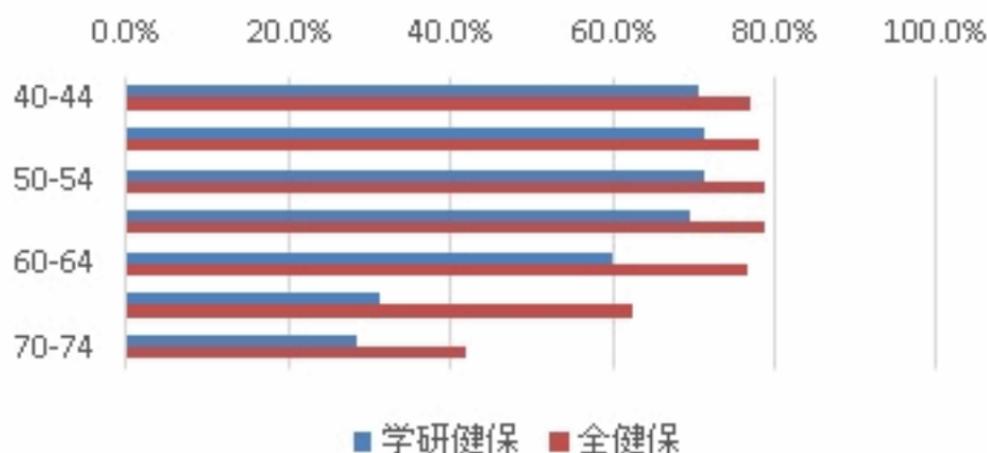
特定健診実施率 被保険者



特定健診実施率 被扶養者

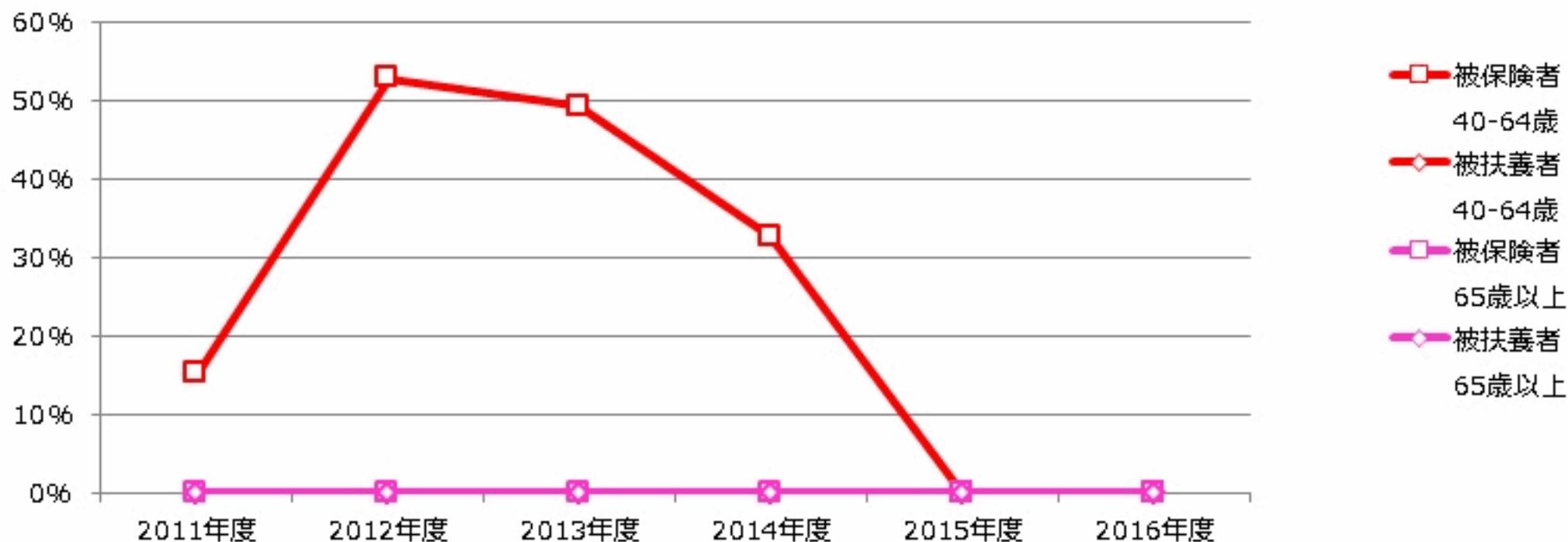


特定健診実施率 全体



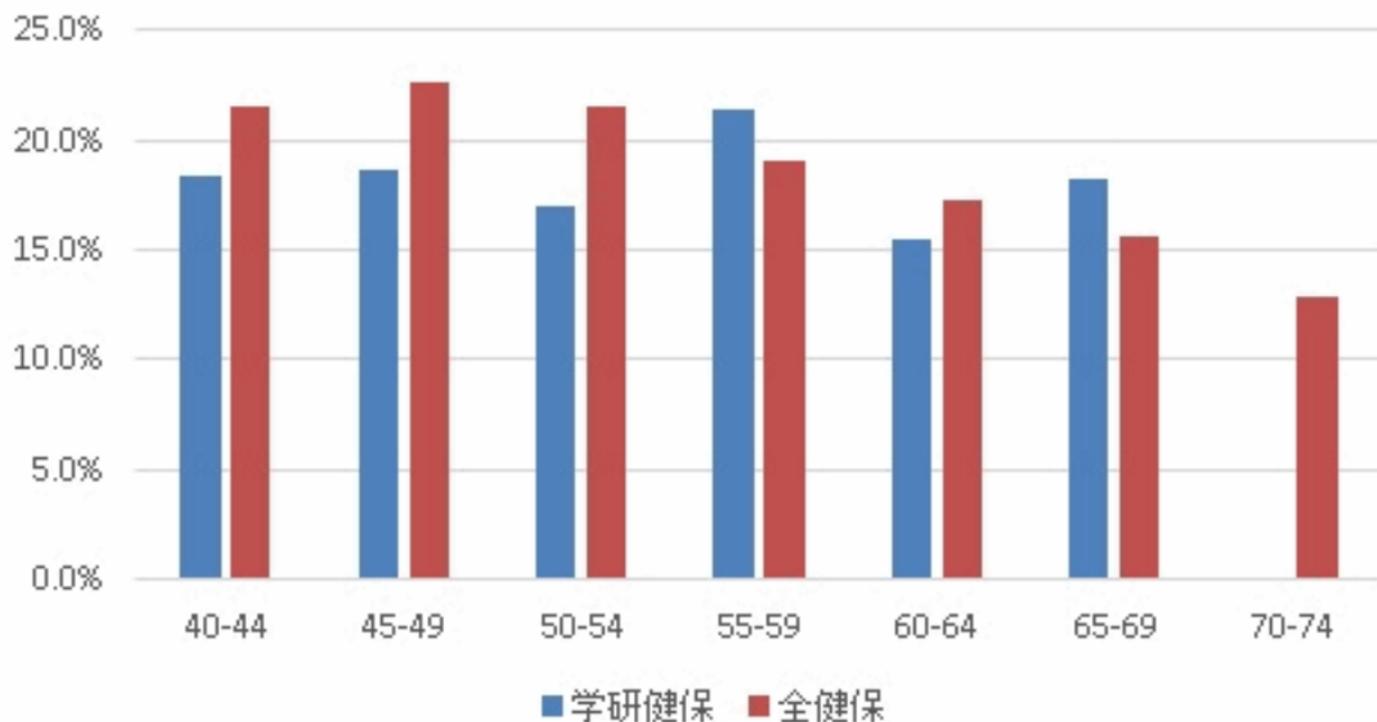
特定健診の実施率は被保険者・被扶養者とも年齢全般に渡って全健保水準を下回っており、改善の必要性が認められる。

特定保健指導実施率【積極的支援】（経年変化）



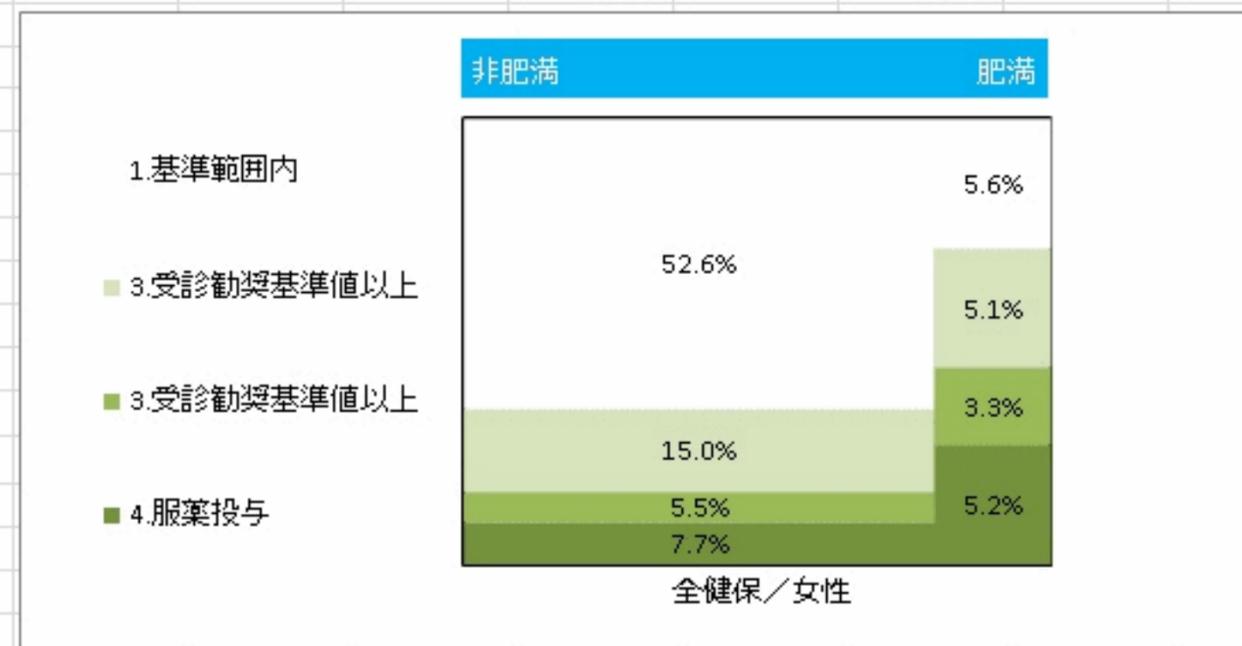
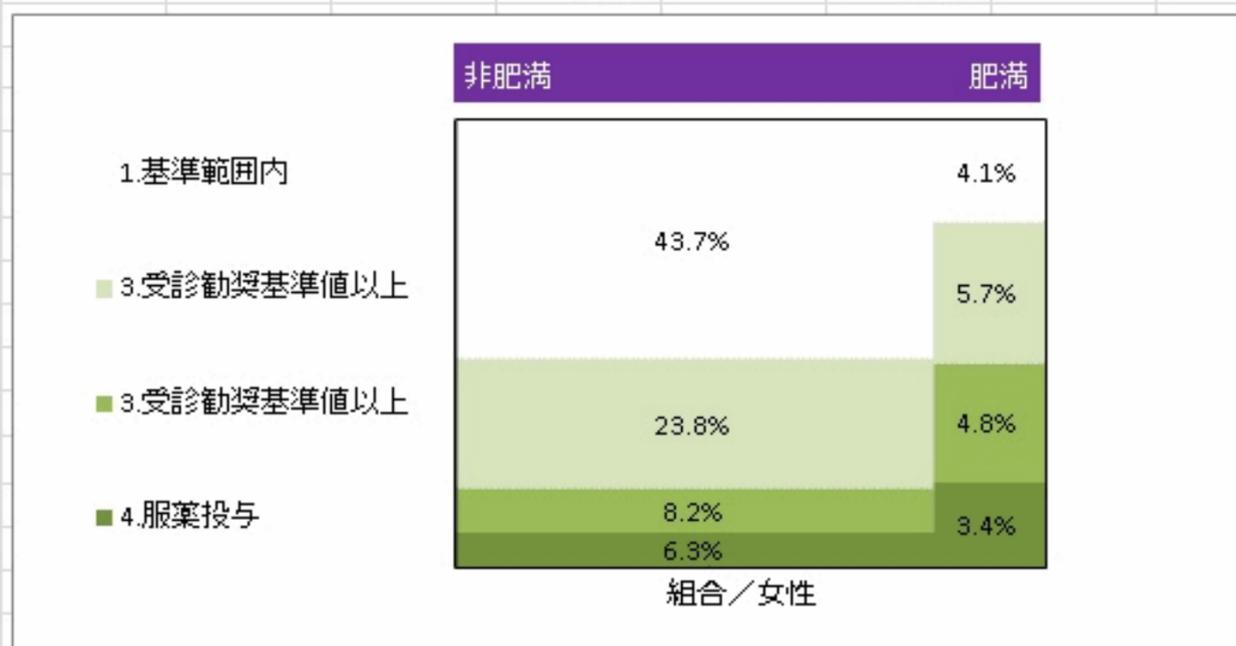
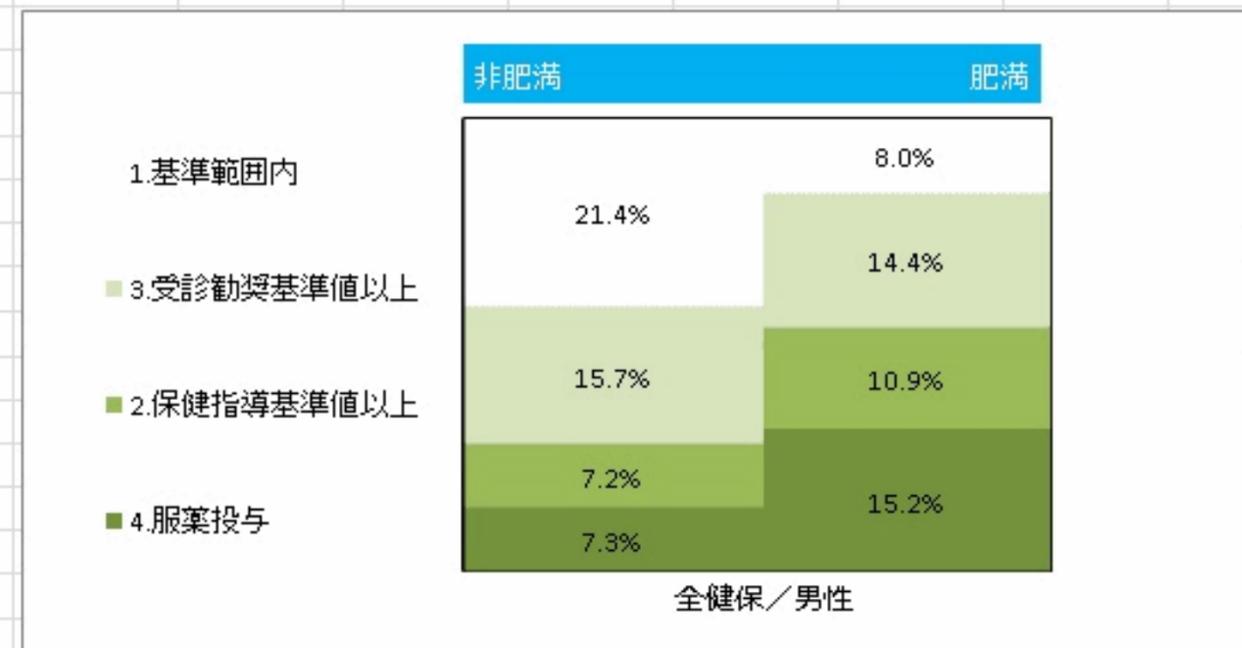
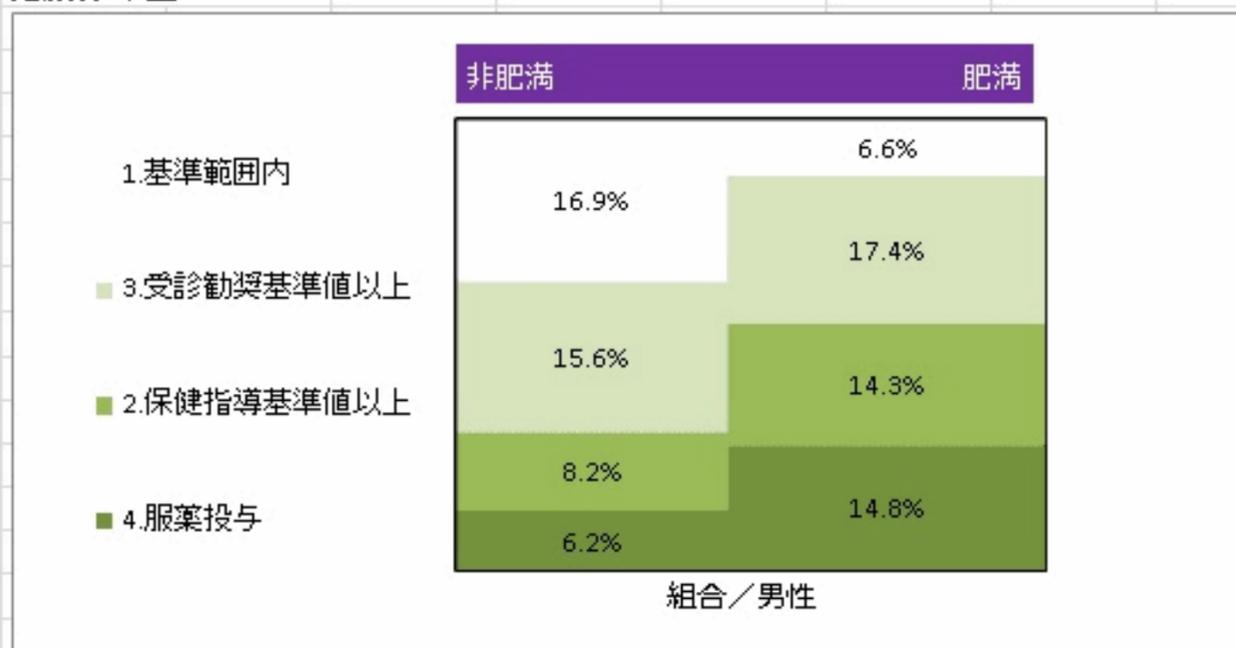
40-64歳被保険者を中心に特定保健指導をH23からH25まで行ってきたが、H26から実施方法を見直すため、実施を保留してきた。実施中、被扶養者に関しても実施対象としてきたが本人承諾に結びつかなかった。

特定保健指導該当率(対受診者数、積極的+動機付け)

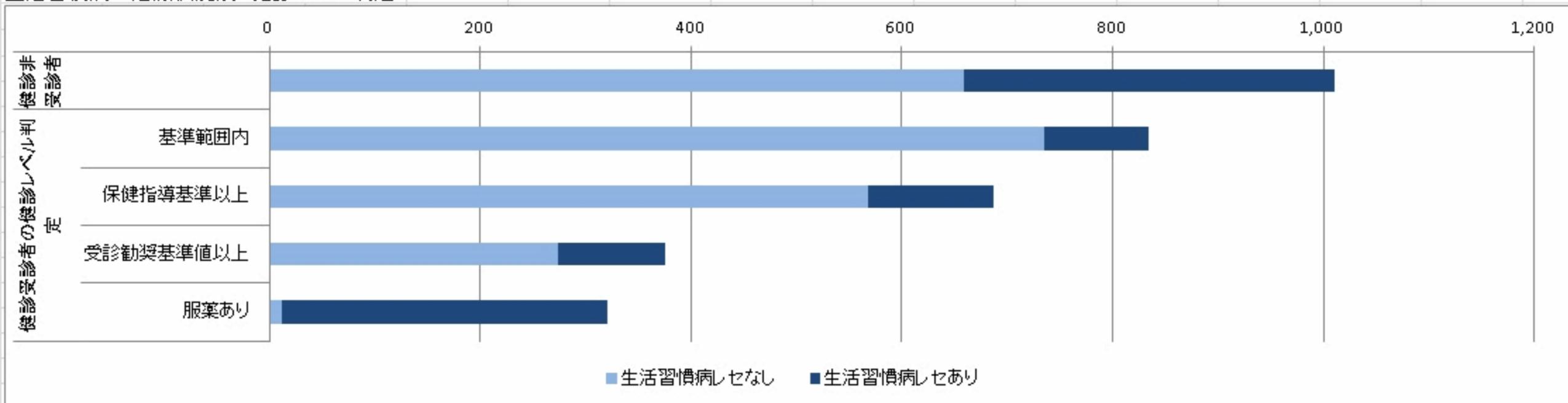


特定保健指導の該当率は全健保では40代後半をピークに減少傾向にあるが、当健保では50代後半から増加する傾向が見られる。

健康分布図



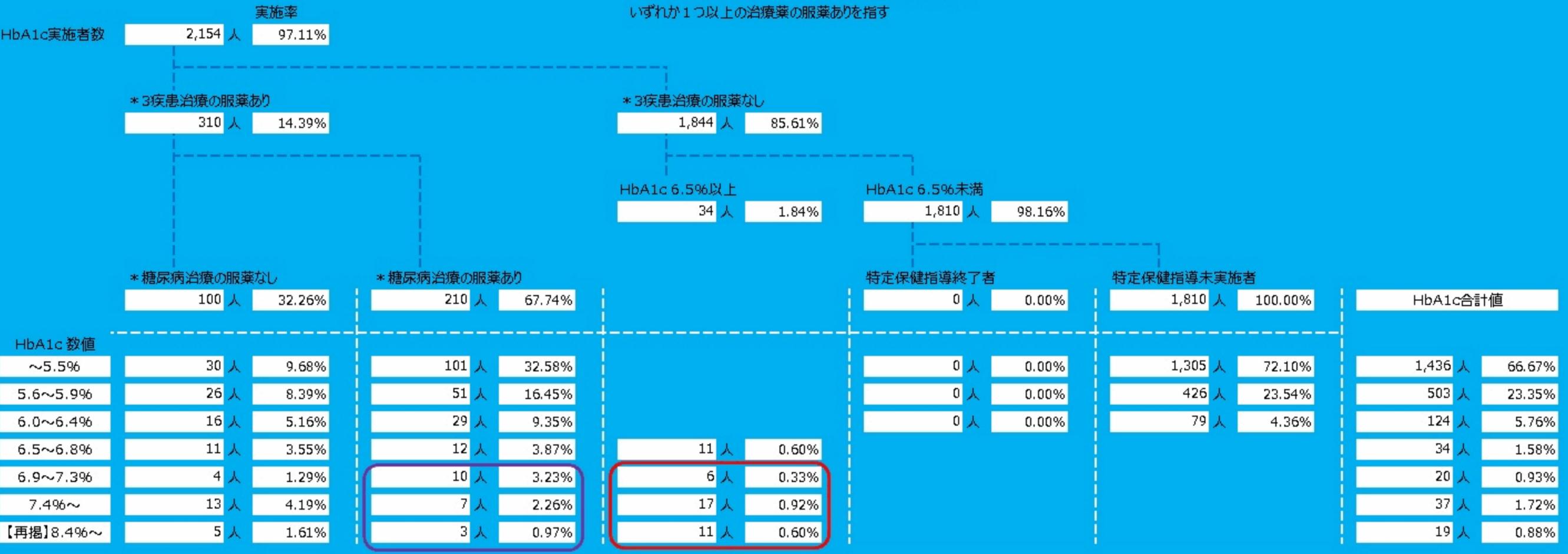
生活習慣病の治療状況別 健診レベル判定



健康分布図で見ると、肥満の割合は全健保水準と比較し、男性は高めで女性は僅かに低めであるが、肥満、非肥満ともに受診勧奨基準値以上の者は割合は全健保水準よりも高くなっている。
 健診レベル判定の図で見ると、生活習慣病レベルが受診勧奨基準値以上の者の中に生活習慣病の治療を受けている者は約100名、受けていない者は約300名ほどいることがわかる。

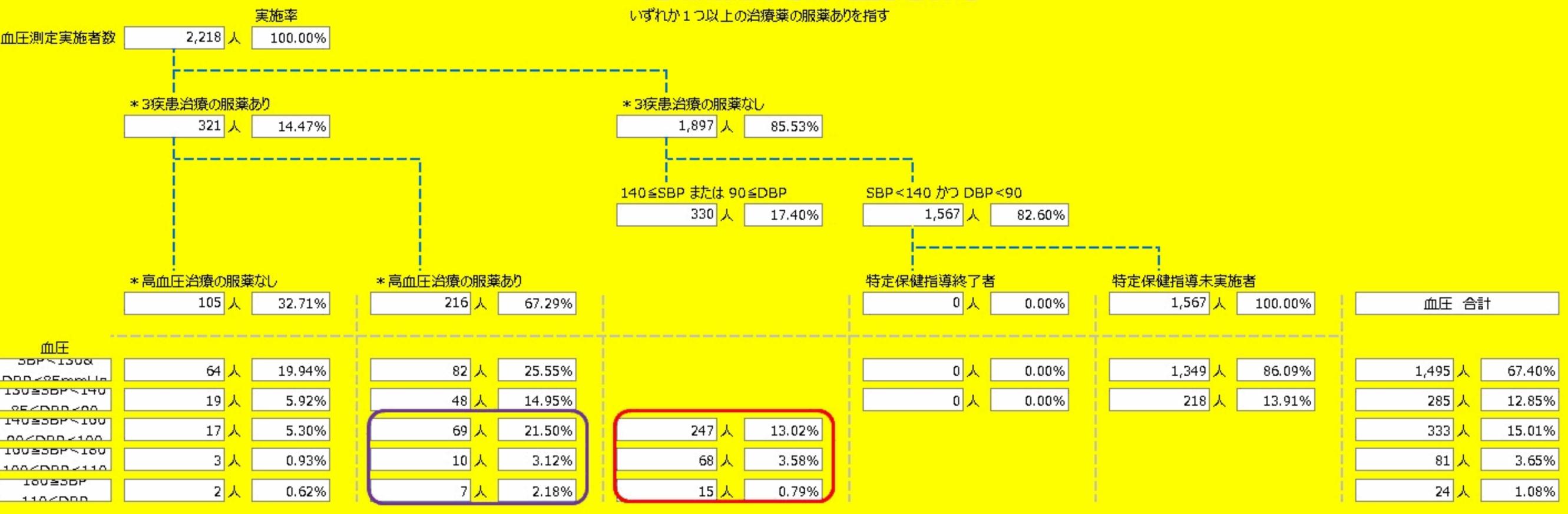
糖尿病リスクフローチャート

*服薬あり/なしは、問診回答で判定
 *3疾患治療の服薬ありは、糖尿病、高血圧症、脂質異常症
 いずれか1つ以上の治療薬の服薬ありを指す



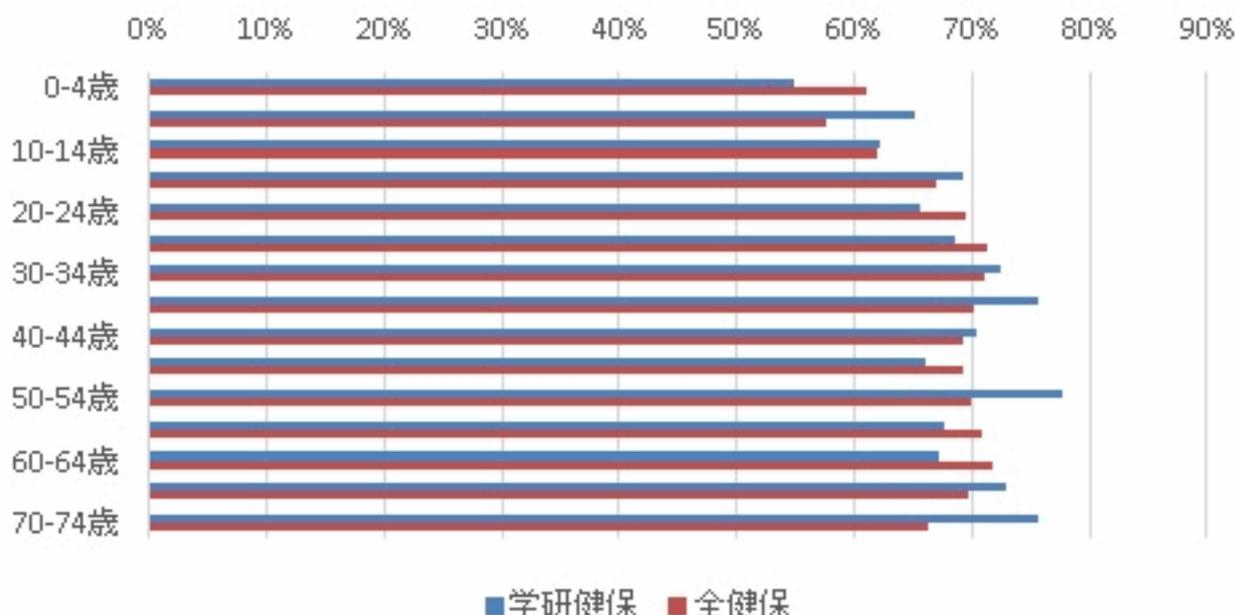
脳卒中・心筋梗塞等リスクフローチャート

*服薬あり/なしは、問診回答で判定
 *3疾患治療の服薬ありは、糖尿病、高血圧症、脂質異常症
 いずれか1つ以上の治療薬の服薬ありを指す

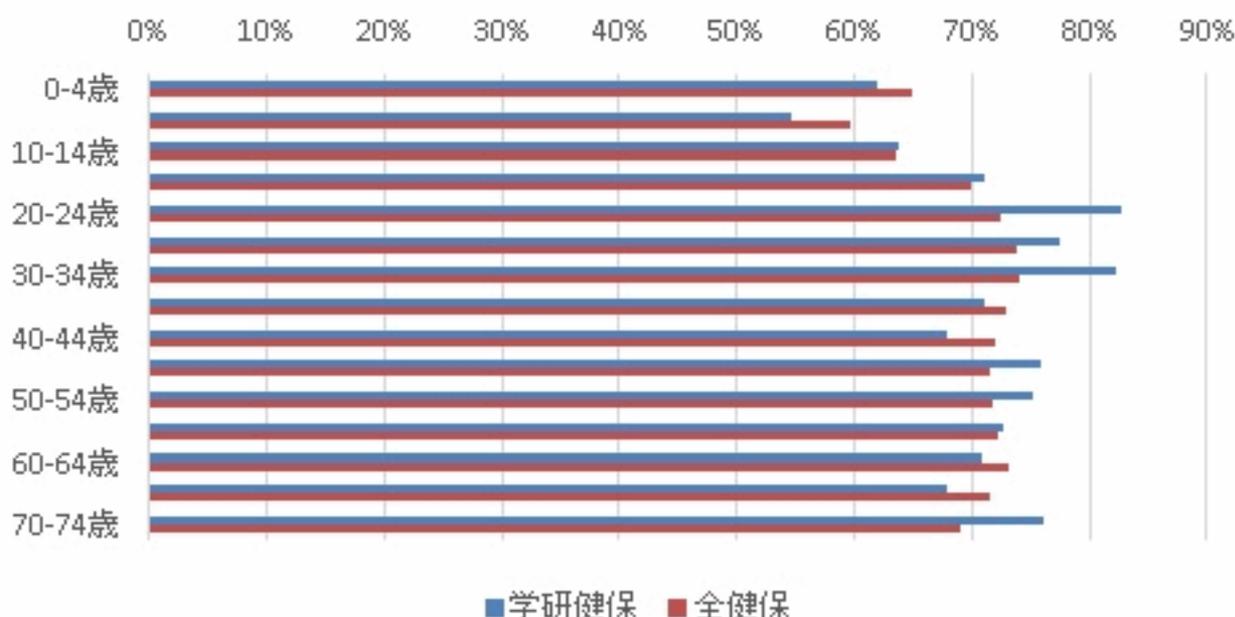


・治療を受けているにもかかわらず、検査値が受診勧奨対象で重症化リスクのある者が存在する(紫枠)
 ・血圧の検査値が受診勧奨対象でありながら、治療を受けていない者が存在する(赤枠)

後発医薬品使用状況 2016/10



後発医薬品使用状況 2017/10



経年変化比較のため、前年分と併記掲載した。

全般的に全健保にほぼ近い使用率であり、使用率が増加している点でも同じ傾向を示している。ただ、当健保では使用率の増加が全健保より僅かながら高かった。

STEP 2 健康課題の抽出

No.	STEP1 対応項目	基本分析による現状把握から見える主な健康課題		対策の方向性	優先すべき 課題
1	ア, イ, ウ	【医療費の現状と年齢構成】 ・ 全般的には加齢に応じた医療費の増加傾向が見られる。 ・ さらに年齢構成の割に医療費は高めとなっており、対策のすみやかな実行が望ましい。 ・ いずれにしても医療費は増加傾向にあり何らかの対策が望まれる。	➔	・ 総じて医療費対策が必要な状況であり、方向性として加齢の影響を念頭におくべきと思われる。 ・ 加入者の医療費の状況に対する理解と意識の向上による協力体制も必要である。	
2	エ	【事業所の特性差異】 ・ 比較指数で見た事業所ごとの医療費の差異には年齢層やデスクワーク中心業務などの典型要因の影響が想像されるが、それだけでは十分に分析しきれない可能性がある。 ・ いずれにしても事業所間の状況にバラつきが大きく、全体一律の施策が必ずしも有効ではない可能性がある。	➔	・ 大きな方向性にもとづく施策とは別に、より個別の分析をもとにした事業所ごとの対策も視野に入れておく。 ・ 各事業所ごと個別面談等を通じて対策の立案と実施を進める。	
3	オ, カ, キ	【疾病の発生傾向】 ・ 医療費総額で見ると、全健保と同様に生活習慣病が上位を占めているが、その割合はより高い。 ・ 一方、比較指数で見ると生活習慣病以外の疾病が上位に来るが、大半は一部の高額医療費患者の影響によるものが多い。	➔	・ 医療費対策の大きな方向性としては生活習慣病対策が有効と考えられ、特定保健指導などの施策を中心に進める。 ・ 保健指導等の生活習慣病対策の推進が有効と思われる。新生物については早期発見のために40代からの「がん検診」の受診機会整備も検討課題である。	
4	ク, ケ, コ	【特定健診、特定保健指導の実施状況】 ・ 55歳以上の重症化リスクが高まる年齢層で特定保健指導該当率が急増している ・ 特定健診・特定保健指導の実施率が不十分なことにより重症化予防などの対策の手立てが遅れるリスクがある ・ 特定保健指導は方針再検討のため実施保留が続いていた	➔	・ 事業主とも連携した勧奨、呼びかけによって受診率および保健指導実施率を高める ・ 特定保健指導は方法の見直しや対象選定の工夫により実効性や持続率の向上を目指す	
5	サ, シ	【有病者の重症化リスク】 脳卒中/心疾患、糖尿病の重症化リスクがかなり高いにもかかわらず、治療を受けていない者が存在する 脳卒中/心疾患、糖尿病の重症化リスクがかなり高いにもかかわらず、治療を受けていない者が存在する	➔	産業医等との連携も踏まえ対策を立案する	
6	ス	【後発医薬品施策】 後発医薬品の使用率は本人家族の別なくほぼ全健保水準並である	➔	当面、現状の推進施策を維持	

基本情報

No.	特徴		対策検討時に留意すべき点
1	適用事業所や拠点数が被保険者数に比して多く、所属人数の多い事業所も全国に散在する小人数拠点から構成されている	➔	事業所ごとに被保険者の置かれる環境が多様であるので、疾病傾向も各事業所で異なる可能性がある。そのため疾病予防には、全体共通の施策に固執せず、実態に即した各事業所個別の施策も視野に入れ対応していくことが必要である。

2	被保険者人口としては女性が多い 男性の人口ピークは40歳代前半、女性は50歳代後半であるが、男性は50歳代後半に女性は20歳代後半にも局所的な人口偏りがある	→	被保険者人口としては女性が多い 男性の人口ピークは40歳代前半、女性は50歳代後半であるが、男性は50歳代後半に女性は20歳代後半にも局所的な人口偏りがある
3	当健康保険組合に医療専門職は不在	→	予防医学的な観点を要する部分では、事業主側の産業医などとの連携をはかる

保健事業の実施状況

No.	特徴		対策検討時に留意すべき点
1	特定健診の実施や分析については、1医療機関あたりの対象人数が2～3人という拠点も多く統制に労を要する、また健診結果を紙形式でしか入手できず手作業入力が必要とし分析作業にも負担がかかる	→	全国展開する健診実施会社との連携などによる健診結果の収集や費用の支払の合理化の模索 そうした合理化などによるデータ分析等の時間創出
2	特定保健指導は方向性再検討のため数年に渡って実施保留している	→	急ぎ方向性を規定し優先的に実施再開に向かう
3	人間ドック、生活習慣病検診、婦人科検診などの疾病予防事業は継続的に行っているが、位置づけや効果の評価が必ずしも十分と言えない	→	事業主とも連携し法定健診も視野にいれて、重症化などの予防の観点でより効果的な実施の方法や体制を模索する
4	数年前に機関誌を廃止したため、ホームページがほぼ唯一の情報発信媒体経路となっているが、まだ認知度が期待したほど上がっていない	→	事業主のイントラネットや掲示媒体などとの連携による認知度の向上、コンテンツ内容の利便性や有用性の充実による加入者の利用促進
5	ジェネリック医薬品の利用推進をはじめとする医療費削減取り組みは、保険証への利用シール貼付など事業主への健保財政危機に対する理解と協力の訴求が中心 その他の保険事業には財政不足もあってほとんど着手できていない	→	少なくとも現状施策は今後も継続的に維持、さらなる施策については財政状況も踏まえながら、事業主や他健保との協同企画などの可能性の模索

STEP 3 保健事業の実施計画

事業全体の目的

さまざまな業種・業態に渡る各事業所全体の健康増進と医療費のバランスを適正化する

事業全体の目標

各事業所ごとに構造を分析し、それぞれに最適な医療費適正化施策を見出し実行する

事業の一覧

職場環境の整備

保健指導宣伝	保健情報・保健サービスの整備向上
疾病予防	健診の体制的見直し
予算措置なし	事業主体との情報連携・コラボヘルス

加入者への意識づけ

保健指導宣伝	保健意識向上に向けた教育啓発
--------	----------------

個別の事業

特定健康診査事業	特定健康診査の実施
特定保健指導事業	特定保健指導の推進
保健指導宣伝	事業所ごとの健康分析と課題のフィードバック
保健指導宣伝	ホームページでの情報提供
保健指導宣伝	医療費通知
保健指導宣伝	ジェネリック薬の利用推進
疾病予防	生活習慣病健診の実施
疾病予防	女性検診の実施
疾病予防	人間ドックの受診支援
疾病予防	健康相談サービスの提供
疾病予防	有所見者の受診勧奨と重症化予防
予算措置なし	法定健診の実施支援
予算措置なし	その他手段での情報提供
予算措置なし	家庭常備薬斡旋
予算措置なし	禁煙推進
予算措置なし	持株会社・産業医との定期会合

※事業は予算科目順に並び替えて表示されています。

予算科目	注1)事業分類	新規既存	事業名	対象者				注2)実施主体	注3)プロセス分類	実施方法	注4)ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)					事業目標	健康課題との関連
				対象事業所	性別	年齢	対象者						実施計画						
													平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度		
職場環境の整備												アウトカム指標							
保健指導 宣伝	6,8	既存	保健情報・保健サービスの整備向上	全て	男女	0～(上限なし)	加入者全員	1	ア				400	-	-	-	-	高医療費時代に真に必要な情報やサービスへの選択集中と充実化	<p>【医療費の現状と年齢構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般的には加齢に応じた医療費の増加傾向が見られる。 ・さらに年齢構成の割に医療費は高めとなっており、対策のすみやかな実行が望ましい。 ・いずれにしても医療費は増加傾向にあり何らかの対策が望まれる。 <p>【事業所の特性差異】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・比較指数で見た事業所ごとの医療費の差異には年齢層やデスクワーク中心業務などの典型要因の影響が想像されるが、それらだけでは十分に分析しきれない可能性がある。 ・いずれにしても事業所間の状況にバラつきが大きく、全体一律の施策が必ずしも有効ではない可能性がある。 <p>【疾病の発生傾向】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療費総額で見ると、全健保と同様に生活習慣病が上位を占めているが、その割合はより高い。 ・一方、比較指数で見ると生活習慣病以外の疾病が上位に来るが、大半は一部の高額医療費患者の影響によるものが多い。
													健康相談サービスの提供 家庭常備薬斡旋	健康相談サービスの提供 家庭常備薬斡旋	健康相談サービスの提供 家庭常備薬斡旋	健康相談サービスの提供 家庭常備薬斡旋	健康相談サービスの提供 家庭常備薬斡旋		
疾病予防	3,4	既存(法定)	健診の体制的見直し	全て	男女	18～(上限なし)	加入者全員	3	イ,ウ,エ,ク,ケ,シ		ア,イ		-	-	-	-	-	受診率、実施効率等の観点で現在の各種健診の実施方法などを整備	<p>【医療費の現状と年齢構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般的には加齢に応じた医療費の増加傾向が見られる。 ・さらに年齢構成の割に医療費は高めとなっており、対策のすみやかな実行が望ましい。 ・いずれにしても医療費は増加傾向にあり何らかの対策が望まれる。 <p>【疾病の発生傾向】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療費総額で見ると、全健保と同様に生活習慣病が上位を占めているが、その割合はより高い。 ・一方、比較指数で見ると生活習慣病以外の疾病が上位に来るが、大半は一部の高額医療費患者の影響によるものが多い。
													法定健診の実施支援 特定健康診査の実施 生活習慣病健診の実施 女性検診の実施 人間ドックの受診支援	法定健診の実施支援 特定健康診査の実施 生活習慣病健診の実施 女性検診の実施 人間ドックの受診支援	法定健診の実施支援 特定健康診査の実施 生活習慣病健診の実施 女性検診の実施 人間ドックの受診支援	法定健診の実施支援 特定健康診査の実施 生活習慣病健診の実施 女性検診の実施 人間ドックの受診支援	法定健診の実施支援 特定健康診査の実施 生活習慣病健診の実施 女性検診の実施 人間ドックの受診支援		

予算科目	注1) 事業分類	新規/既存	事業名	対象者				注2) 実施主体	注3) プロセス分類	実施方法	注4) ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)					事業目標	健康課題との関連
				対象事業所	性別	年齢	対象者						実施計画						
													平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度		
予算措置なし	1	既存	事業主体との情報連携・コラボヘルス	全て	男女	0～(上限なし)	加入者全員	3	イ,エ,キ,シ-	ア	-	事業所ごとの健康分析と課題のフィードバック 持株会社・産業医との定期会合 禁煙推進	事業所ごとの健康分析と課題のフィードバック 持株会社・産業医との定期会合 禁煙推進	事業所ごとの健康分析と課題のフィードバック 持株会社・産業医との定期会合 禁煙推進	事業所ごとの健康分析と課題のフィードバック 持株会社・産業医との定期会合 禁煙推進	事業所ごとの健康分析と課題のフィードバック 持株会社・産業医との定期会合 禁煙推進	事業所ごとの健康分析と課題のフィードバック 持株会社・産業医との定期会合 禁煙推進	事業主体と課題・目標を共有したコラボヘルスの実現	<p>【医療費の現状と年齢構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全般的には加齢に応じた医療費の増加傾向が見られる。 ・さらに年齢構成の割に医療費は高めとなっており、対策のすみやかな実行が望ましい。 ・いずれにしても医療費は増加傾向にあり何らかの対策が望まれる。 <p>【事業所の特性差異】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・比較指数で見た事業所ごとの医療費の差異には年齢層やデスクワーク中心業務などの典型要因の影響が想像されるが、それらだけでは十分に分析しきれない可能性がある。 ・いずれにしても事業所間の状況にバラつきが大きく、全体一律の施策が必ずしも有効ではない可能性がある。 <p>【疾病の発生傾向】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療費総額で見ると、全健保と同様に生活習慣病が上位を占めているが、その割合はより高い。 ・一方、比較指数で見ると生活習慣病以外の疾病が上位に来るが、大半は一部の高額医療費患者の影響によるものが多い。 <p>【有病者の重症化リスク】</p> <ul style="list-style-type: none"> 脳卒中/心疾患、糖尿病の重症化リスクがかなり高いにもかかわらず、治療を受けていない者が存在する 脳卒中/心疾患、糖尿病の重症化リスクがかなり高いにもかかわらず、治療を受けていない者が存在する
加入者への意識づけ													1,500	-	-	-	-	-	-

予算科目	注1) 事業分類	新規既存	事業名	対象者				注2) 実施主体	注3) プロセス分類	実施方法	注4) ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)					事業目標	健康課題との関連	
				対象事業所	性別	年齢	対象者						実施計画							
													平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度			令和5年度
アウトプット指標												アウトカム指標								
保健指導宣伝	2,5	新規	保健意識向上に向けた教育啓発	全て	男女	18～(上限なし)	加入者全員	3	エ	-	ア,イ	-	ホームページでの情報提供 その他手段での情報提供 医療費通知 特定保健指導の推進 有所見者の受診勧奨と重症化予防 ジェネリック薬の利用推進	ホームページでの情報提供 その他手段での情報提供 医療費通知 特定保健指導の推進 有所見者の受診勧奨と重症化予防 ジェネリック薬の利用推進	ホームページでの情報提供 その他手段での情報提供 医療費通知 特定保健指導の推進 有所見者の受診勧奨と重症化予防 ジェネリック薬の利用推進	ホームページでの情報提供 その他手段での情報提供 医療費通知 特定保健指導の推進 有所見者の受診勧奨と重症化予防 ジェネリック薬の利用推進	ホームページでの情報提供 その他手段での情報提供 医療費通知 特定保健指導の推進 有所見者の受診勧奨と重症化予防 ジェネリック薬の利用推進	ホームページでの情報提供 その他手段での情報提供 医療費通知 特定保健指導の推進 有所見者の受診勧奨と重症化予防 ジェネリック薬の利用推進	事業主体との連携などによる加入者全体の理解増進と意識向上の達成	<p>【事業所の特性差異】</p> <ul style="list-style-type: none"> 比較指数で見た事業所ごとの医療費の差異には年齢層やデスクワーク中心業務などの典型要因の影響が想像されるが、それだけでは十分に分析しきれない可能性がある。 いずれにしても事業所間の状況にバラつきが大きく、全体一律の施策が必ずしも有効ではない可能性がある。 <p>【疾病の発生傾向】</p> <ul style="list-style-type: none"> 医療費総額で見ると、全健保と同様に生活習慣病が上位を占めているが、その割合はより高い。 一方、比較指数で見ると生活習慣病以外の疾病が上位に来るが、大半は一部の高額医療費患者の影響によるものが多い。 <p>【特定健診、特定保健指導の実施状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> 55歳以上の重症化リスクが高まる年齢層で特定保健指導該当率が急増している 特定健診・特定保健指導の実施率が不十分なことにより重症化予防などの対策の手立てが遅れるリスクがある 特定保健指導は方針再検討のため実施保留が続いていた <p>【有病者の重症化リスク】</p> <ul style="list-style-type: none"> 脳卒中/心疾患、糖尿病の重症化リスクがかなり高いにもかかわらず、治療を受けていない者が存在する 脳卒中/心疾患、糖尿病の重症化リスクがかなり高いにもかかわらず、治療を受けていない者が存在する
改善施策実施数(【実績値】1件 【目標値】平成30年度：1件 令和元年度：1件 令和2年度：1件 令和3年度：1件 令和4年度：1件 令和5年度：1件)-												定着した改善数累計(【実績値】1件 【目標値】平成30年度：1件 令和元年度：1件 令和2年度：2件 令和3年度：2件 令和4年度：3件 令和5年度：3件)-								
個別の事業																				
特定健康診査事業	3	既存	特定健康診査の実施	全て	男女	40～(上限なし)	基準該当者	1	ク,シ	-	ア,コ	-	被保険者：法定健診との連携による本社圏での完全実施維持、地方圏での完全実施達成 被扶養者：母体企業や被保険者の啓発などによる被扶養者の受診率の向上	被保険者：法定健診との連携による本社圏での完全実施維持、地方圏での完全実施達成 被扶養者：母体企業や被保険者の啓発などによる被扶養者の受診率の向上	被保険者：法定健診との連携による本社圏での完全実施維持、地方圏での完全実施達成 被扶養者：母体企業や被保険者の啓発などによる被扶養者の受診率の向上	被保険者：法定健診との連携による本社圏での完全実施維持、地方圏での完全実施達成 被扶養者：母体企業や被保険者の啓発などによる被扶養者の受診率の向上	被保険者：法定健診との連携による本社圏での完全実施維持、地方圏での完全実施達成 被扶養者：母体企業や被保険者の啓発などによる被扶養者の受診率の向上	被保険者：法定健診との連携による本社圏での完全実施維持、地方圏での完全実施達成 被扶養者：母体企業や被保険者の啓発などによる被扶養者の受診率の向上	被保険者：法定健診との連携による本社・地方両方で完全実施達成維持 被扶養者：母体企業や被保険者の啓発などによる被扶養者の完全実施達成	<p>【疾病の発生傾向】</p> <ul style="list-style-type: none"> 医療費総額で見ると、全健保と同様に生活習慣病が上位を占めているが、その割合はより高い。 一方、比較指数で見ると生活習慣病以外の疾病が上位に来るが、大半は一部の高額医療費患者の影響によるものが多い。
実施率(【実績値】75% 【目標値】平成30年度：45% 令和元年度：58% 令和2年度：58% 令和3年度：58% 令和4年度：58% 令和5年度：58%)-												アウトカムは集約施策である保健事業の基盤の項目で設定するため(アウトカムは設定されていません)								
特定保健指導事業	4	既存	特定保健指導の推進	全て	男女	40～(上限なし)	基準該当者	1	ク,ケ	-	ア,イ	-	本社圏被保険者を中心に事業所との連携による設定目標達成	本社圏被保険者を中心に事業所との連携による設定目標達成	本社圏被保険者を中心に事業所との連携による設定目標達成	本社圏被保険者を中心に事業所との連携による設定目標達成	本社圏被保険者を中心に事業所との連携による設定目標達成	本社圏被保険者を中心に事業所との連携による設定目標達成	後期高齢者支援金の加算減算指標も踏まえた生活習慣病予防体制の実現に向けた実施率の達成	<p>【疾病の発生傾向】</p> <ul style="list-style-type: none"> 医療費総額で見ると、全健保と同様に生活習慣病が上位を占めているが、その割合はより高い。 一方、比較指数で見ると生活習慣病以外の疾病が上位に来るが、大半は一部の高額医療費患者の影響によるものが多い。
実施率(【実績値】5.5% 【目標値】平成30年度：5.5% 令和元年度：10% 令和2年度：10% 令和3年度：10% 令和4年度：10% 令和5年度：10%)数字は仮置き(29年度未集計)												アウトカムは集約施策である保健事業の基盤の項目で設定するため(アウトカムは設定されていません)								
保健指導宣伝	1,5	新規	事業所ごとの健康分析と課題のフィードバック	一部の事業所	男女	0～(上限なし)	加入者全員	3	エ,シ	-	ア,イ,キ	-	健診データを中心に各事業所ごとに健康情報を分析	健診データを中心に各事業所ごとに健康情報を分析	健診データを中心に各事業所ごとに健康情報を分析	健診データを中心に各事業所ごとに健康情報を分析	健診データを中心に各事業所ごとに健康情報を分析	健診データを中心に各事業所ごとに健康情報を分析	事業主による健康リスクの把握と対応施策の立案実施体制確立	<p>【医療費の現状と年齢構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> 一般的には加齢に応じた医療費の増加傾向が見られる。 さらに年齢構成の割に医療費は高めとなっており、対策のすみやかな実行が望ましい。 いずれにしても医療費は増加傾向にあり何らかの対策が望まれる。

予算科目	注1) 事業分類	新規既存	事業名	対象者				注2) 実施主体	注3) プロセス分類	実施方法	注4) ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)					事業目標	健康課題との関連						
				対象事業所	性別	年齢	対象者						実施計画												
													平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度			令和5年度					
アウトプット指標												アウトカム指標													
情報提供回数(【実績値】11回 【目標値】平成30年度：11回 令和元年度：11回 令和2年度：11回 令和3年度：11回 令和4年度：11回 令和5年度：11回)-												アウトカムは集約施策である保健事業の基盤の項目で設定するため(アウトカムは設定されていません)													
1,2,5	既存	ホームページでの情報提供	全て	男女	0～(上限なし)	加入者全員	1	エ	-		ア,イ,コ	-	事業主の所有イントラネットとの連携強化などによる認知度向上	600	-	-	-	-	-	問い合わせの低減と加入者の健康課題等の認識向上	【医療費の現状と年齢構成】 ・全般的には加齢に応じた医療費の増加傾向が見られる。 ・さらに年齢構成の割に医療費は高めとなっており、対策のすみやかな実行が望ましい。 ・いずれにしても医療費は増加傾向にあり何らかの対策が望まれる。				
情報更新数(【実績値】2回 【目標値】平成30年度：2回 令和元年度：2回 令和2年度：2回 令和3年度：2回 令和4年度：2回 令和5年度：2回)-												アウトカムは集約施策である保健事業の基盤の項目で設定するため(アウトカムは設定されていません)													
2,5	既存(法定)	医療費通知	全て	男女	18～(上限なし)	被保険者	1	シ	-		ア	-	認知度向上を踏まえた情報伝達等への活用をはかる	540	-	-	-	-	-	医療費などの情報伝達手段としての充実化	【医療費の現状と年齢構成】 ・全般的には加齢に応じた医療費の増加傾向が見られる。 ・さらに年齢構成の割に医療費は高めとなっており、対策のすみやかな実行が望ましい。 ・いずれにしても医療費は増加傾向にあり何らかの対策が望まれる。				
通知回数(【実績値】1回 【目標値】平成30年度：1回 令和元年度：1回 令和2年度：1回 令和3年度：1回 令和4年度：1回 令和5年度：1回)-												アウトカムは集約施策である保健事業の基盤の項目で設定するため(アウトカムは設定されていません)													
7	既存	ジェネリック薬の利用推進	全て	男女	0～(上限なし)	加入者全員	3	ケ,シ	-		ア	-	シールの作成配布と伝達媒体を通じた啓発・協力量議	100	-	-	-	-	-	最大範囲を目標としての利用率向上	【有病者の重症化リスク】 脳卒中/心疾患、糖尿病の重症化リスクがかなり高いにもかかわらず、治療を受けていない者が存在する 脳卒中/心疾患、糖尿病の重症化リスクがかなり高いにもかかわらず、治療を受けていない者が存在する				
施策実施数(【実績値】2回 【目標値】平成30年度：2回 令和元年度：2回 令和2年度：2回 令和3年度：2回 令和4年度：2回 令和5年度：2回)-												アウトカムは集約施策である保健事業の基盤の項目で設定するため(アウトカムは設定されていません)													
疾病予防	3	既存	生活習慣病健診の実施	全て	男女	35～(上限なし)	基準該当者	1	ケ	-	ア,イ	-	基準該当の希望者に周知案内と利用環境整備	35,000	-	-	-	-	-	現状の複数健診類と合わせて総合的に整備	【事業所の特性差異】 ・比較指数で見た事業所ごとの医療費の差異には年齢層やデスクワーク中心業務などの典型要因の影響が想像されるが、それらだけでは十分に分析しきれない可能性がある。 ・いずれにしても事業所間の状況にバラつきが大きく、全体一律の施策が必ずしも有効ではない可能性がある。				
														実施率(【実績値】94% 【目標値】平成30年度：94% 令和元年度：94% 令和2年度：94% 令和3年度：94% 令和4年度：94% 令和5年度：94%)-											
3	既存	女性検診の実施	全て	女性	20～(上限なし)	基準該当者	1	ケ	-		ア,イ	-	基準該当の希望者に周知案内と利用環境整備	28,000	-	-	-	-	-	現状の複数健診類と合わせて総合的に整備	【医療費の現状と年齢構成】 ・全般的には加齢に応じた医療費の増加傾向が見られる。 ・さらに年齢構成の割に医療費は高めとなっており、対策のすみやかな実行が望ましい。 ・いずれにしても医療費は増加傾向にあり何らかの対策が望まれる。 【事業所の特性差異】 ・比較指数で見た事業所ごとの医療費の差異には年齢層やデスクワーク中心業務などの典型要因の影響が想像されるが、それらだけでは十分に分析しきれない可能性がある。 ・いずれにしても事業所間の状況にバラつきが大きく、全体一律の施策が必ずしも有効ではない可能性がある。				

予算科目	注1)事業分類	新規既存	事業名	対象者				注2)実施主体	注3)プロセス分類	実施方法	注4)ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)					事業目標	健康課題との関連		
				対象事業所	性別	年齢	対象者						実施計画								
													平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度			令和5年度	
アウトプット指標												アウトカム指標									
実施率(【実績値】80% 【目標値】平成30年度:80% 令和元年度:80% 令和2年度:80% 令和3年度:80% 令和4年度:80% 令和5年度:80%)数値は仮置き(29年度まだ未集計)												アウトカムは集約施策である保健事業の基盤の項目で設定するため(アウトカムは設定されていません)									
3	既存	人間ドックの受診支援	全て	男女	35～(上限なし)	基準該当者	1	ケ	-	ア,イ	-	基準該当の希望者に周知案内と利用環境整備	20,000	-	-	-	-	-	現状の複数健診類と合わせて総合的に整備	【事業所の特性差異】 ・比較指数で見た事業所ごとの医療費の差異には年齢層やデスクワーク中心業務などの典型要因の影響が想像されるが、それらだけでは十分に分析しきれない可能性がある。 ・いずれにしても事業所間の状況にバラつきが大きく、全体一律の施策が必ずしも有効ではない可能性がある。	
周知回数(【実績値】0回 【目標値】平成30年度:1回 令和元年度:1回 令和2年度:1回 令和3年度:1回 令和4年度:1回 令和5年度:1回)-												アウトカムは集約施策である保健事業の基盤の項目で設定するため(アウトカムは設定されていません)									
6	既存	健康相談サービスの提供	全て	男女	0～(上限なし)	加入者全員	1	ア	-	ス	-	告知強化などによる認知度利用率の向上	400	-	-	-	-	-	大多数の認知度の達成	【医療費の現状と年齢構成】 ・一般的には加齢に応じた医療費の増加傾向が見られる。 ・さらに年齢構成の割に医療費は高めとなっており、対策のすみやかな実行が望ましい。 ・いずれにしても医療費は増加傾向にあり何らかの対策が望まれる。	
人用回数(【実績値】12回 【目標値】平成30年度:20回 令和元年度:25回 令和2年度:30回 令和3年度:30回 令和4年度:35回 令和5年度:35回)-												アウトカムは集約施策である保健事業の基盤の項目で設定するため(アウトカムは設定されていません)									
3	既存	有所見者の受診勧奨と重症化予防	全て	男女	0～(上限なし)	加入者全員	1	イ,ク,ケ	-	ア,イ	-	産業医などにより抽出された有所見者に対する受診勧奨の継続	-	-	-	-	-	-	健診体制の総合的見直しの一環としてより有効性の高い方法論の模索	【特定健診、特定保健指導の実施状況】 ・55歳以上の重症化リスクが高まる年齢層で特定保健指導該当率が急増している ・特定健診・特定保健指導の実施率が不十分なことにより重症化予防などの対策の手立てが遅れるリスクがある ・特定保健指導は方針再検討のため実施保留が続いていた	
対象実施率(【実績値】100% 【目標値】平成30年度:100% 令和元年度:100% 令和2年度:100% 令和3年度:100% 令和4年度:100% 令和5年度:100%)-												アウトカムは集約施策である保健事業の基盤の項目で設定するため(アウトカムは設定されていません)									
予算措置なし	3	既存(法定)	法定健診の実施支援	全て	男女	18～(上限なし)	被保険者	3	ケ,シ	-	ア,コ	-	本社圏での完全実施の維持 地方圏での完全実施の達成	-	-	-	-	-	-	本社・地方両方での完全実施の達成と維持	【医療費の現状と年齢構成】 ・一般的には加齢に応じた医療費の増加傾向が見られる。 ・さらに年齢構成の割に医療費は高めとなっており、対策のすみやかな実行が望ましい。 ・いずれにしても医療費は増加傾向にあり何らかの対策が望まれる。
実施率(【実績値】94% 【目標値】平成30年度:100% 令和元年度:100% 令和2年度:100% 令和3年度:100% 令和4年度:100% 令和5年度:100%)-												アウトカムは集約施策である保健事業の基盤の項目で設定するため(アウトカムは設定されていません)									
1,2,5	新規	その他手段での情報提供	全て	男女	0～(上限なし)	加入者全員	1	エ,ケ,シ	-	ア,イ,コ	-	社内食堂などでの情報掲出機会を活用	-	-	-	-	-	-	-	特に無関心層を対象にした健康保険組合事業への関心と理解の掘り起こし	【医療費の現状と年齢構成】 ・一般的には加齢に応じた医療費の増加傾向が見られる。 ・さらに年齢構成の割に医療費は高めとなっており、対策のすみやかな実行が望ましい。 ・いずれにしても医療費は増加傾向にあり何らかの対策が望まれる。
条法配信数(【実績値】- 【目標値】平成30年度:2回 令和元年度:2回 令和2年度:2回 令和3年度:2回 令和4年度:2回 令和5年度:2回)-												アウトカムは集約施策である保健事業の基盤の項目で設定するため(アウトカムは設定されていません)									

予算科目	注1) 事業分類	新規既存	事業名	対象者				注2) 実施主体	注3) プロセス分類	実施方法	注4) ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)					事業目標	健康課題との関連
				対象事業所	性別	年齢	対象者						実施計画						
													平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度		
アウトプット指標												アウトカム指標							
8	既存	家庭常備薬斡旋	全て	男女	0～(上限なし)	加入者全員	1	ス	カタログ提供	ア	-	カタログ提供継続	カタログ提供継続	カタログ提供継続	カタログ提供継続	カタログ提供継続	カタログ提供継続	事業の継続的維持	【医療費の現状と年齢構成】 ・一般的には加齢に応じた医療費の増加傾向が見られる。 ・さらに年齢構成の割に医療費は高めとなっており、対策のすみやかな実行が望ましい。 ・いずれにしても医療費は増加傾向にあり何らかの対策が望まれる。
カタログ配布回数(【実績値】1回 【目標値】平成30年度：1回 令和元年度：1回 令和2年度：1回 令和3年度：1回 令和4年度：1回 令和5年度：1回)-												アウトカムは集約施策である保健事業の基盤の項目で設定するため(アウトカムは設定されていません)							
2	新規	禁煙推進	全て	男女	20～(上限なし)	加入者全員	3	ア	常備薬カタログによる禁煙支援品の斡旋など	ア,イ	-	常備薬カタログによる禁煙支援品の斡旋など	常備薬カタログによる禁煙支援品の斡旋など	常備薬カタログによる禁煙支援品の斡旋など	常備薬カタログによる禁煙支援品の斡旋など	常備薬カタログによる禁煙支援品の斡旋など	常備薬カタログによる禁煙支援品の斡旋など	喫煙率の低減	【事業所の特性差異】 ・比較指数で見た事業所ごとの医療費の差異には年齢層やデスクワーク中心業務などの典型要因の影響が想像されるが、それらだけでは十分に分析しきれない可能性がある。 ・いずれにしても事業所間の状況にバラつきが大きく、全体一律の施策が必ずしも有効ではない可能性がある。
新規支援施策数(【実績値】1件 【目標値】平成30年度：1件 令和元年度：1件 令和2年度：1件 令和3年度：1件 令和4年度：1件 令和5年度：1件)-												アウトカムは集約施策である保健事業の基盤の項目で設定するため(アウトカムは設定されていません)							
1	新規	持株会社・産業医との定期会合	全て	男女	0～(上限なし)	加入者全員	3	イ,ウ,エ,キ,ク,ケ,シ	-	ア,イ	-	情報交換、施策の協働立案・実施・検証を目的とした月一度の会合を実施	情報交換、施策の協働立案・実施・検証を目的とした月一度の会合を実施	情報交換、施策の協働立案・実施・検証を目的とした月一度の会合を実施	情報交換、施策の協働立案・実施・検証を目的とした月一度の会合を実施	情報交換、施策の協働立案・実施・検証を目的とした月一度の会合を実施	情報交換、施策の協働立案・実施・検証を目的とした月一度の会合を実施	課題、目標の共有化	【医療費の現状と年齢構成】 ・一般的には加齢に応じた医療費の増加傾向が見られる。 ・さらに年齢構成の割に医療費は高めとなっており、対策のすみやかな実行が望ましい。 ・いずれにしても医療費は増加傾向にあり何らかの対策が望まれる。
実施回数(【実績値】7回 【目標値】平成30年度：12回 令和元年度：12回 令和2年度：12回 令和3年度：12回 令和4年度：12回 令和5年度：12回)-												アウトカムは集約施策である保健事業の基盤の項目で設定するため(アウトカムは設定されていません)							

注1) 1. 職場環境の整備 2. 加入者への意識づけ 3. 健康診査 4. 保健指導・受診勧奨 5. 健康教育 6. 健康相談 7. 後発医薬品の使用促進 8. その他の事業

注2) 1. 健保組合 2. 事業主が主体で保健事業の一部としても活用 3. 健保組合と事業主との共同事業

注3) ア. 加入者等へのインセンティブを付与 イ. 受診状況の確認(要医療者・要精密検査者の医療機関受診状況) ウ. 受診状況の確認(がん検診・歯科健診の受診状況) エ. ICTの活用(情報作成又は情報提供でのICT活用など) オ. 専門職による対面での健診結果の説明 カ. 他の保険者と共同で集計データを持ち寄って分析を実施
キ. 定量的な効果検証の実施 ク. 対象者の抽出(優先順位づけ、事業所の選定など) ケ. 参加の促進(選択制、事業主の協力、参加状況のモニタリング、環境整備) コ. 健診当日の面談実施・健診受診の動線活用 サ. 保険者以外が実施したがん検診のデータを活用 シ. 事業主と健康課題を共有 ス. その他

注4) ア. 事業主との連携体制の構築 イ. 産業医または産業保健師との連携体制の構築 ウ. 専門職との連携体制の構築(産業医・産業保健師を除く) エ. 他の保険者との共同事業 オ. 他の保険者との健診データの連携体制の構築 カ. 自治体との連携体制の構築 キ. 医療機関・健診機関との連携体制の構築 ク. 保険者協議会との連携体制の構築
ケ. その他の団体との連携体制の構築 コ. 就業時間内も実施可(事業主と合意) サ. 運営マニュアルの整備(業務フローの整理) シ. 人材確保・教育(ケースカンファレンス/ライブラリーの設置) ス. その他